

令和7年4月入学

April 2025 Admissions

令和6年10月入学

October 2024 Admissions

九州工業大学大学院情報工学府

Graduate School of Computer Science and Systems Engineering,
Kyushu Institute of Technology

博士後期課程

Doctoral Program

学生募集要項

Admission Application Guidance

一般選抜 Admissions for General Applicants

社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students

外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students

必ずお読みください Important: Please Read

※ 本冊子 40 ページ以降の「教育研究分野及び授業科目」に追加・修正等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

* A list of academic staff's areas of research and courses taught is provided in this booklet starting from page 40. Any revisions or amendments to this list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

※ 本学生募集要項に関して、追加事項等がある場合、本学ホームページにて随時周知しますので、出願前によく確認してください。

* Any revisions or amendments to the enrollment application procedures shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

※ 令和 8 年 4 月・令和 7 年 10 月入学大学院情報工学府博士前期課程及び博士後期課程の学生募集に関して、予告する事項がある場合、本学ホームページにて随時周知します。

* Any announcements regarding enrollment to the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering master's and doctoral programs for the October 2026-2026 academic year shall be displayed on the university website.

(九州工業大学ホームページ Kyushu Institute of Technology website)

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html>

目 次

入学者受入方針	・・・	1
出願手続きの流れについて	・・・	3
令和7年4月・令和6年10月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 一般選抜募集要項	・・・	10
令和7年4月・令和6年10月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 社会人特別選抜募集要項	・・・	16
令和7年4月・令和6年10月入学 九州工業大学大学院情報工学府 (博士後期課程) 外国人留学生特別選抜募集要項	・・・	23
出願資格の審査申請について	・・・	34
長期履修制度について	・・・	35
九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度	・・・	37
九州工業大学大学院情報工学府の概要	・・・	39
教育研究分野及び授業科目	・・・	40

◎個人情報の取扱いについて

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 入学者選抜で利用した成績等を、入学後の学習指導等で利用します。
- (2) 入学者選抜で利用した成績等を、1年次における授業料免除等の修学支援業務、ティーチングアシスタント及びリサーチアシスタントの雇用業務で利用します。
- (3) 入学者選抜で利用した成績等の個人情報を、個人が特定できない形で、本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

※ 取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人九州工業大学個人情報の保護に関する規則」に基づき、適切に取り扱います。

◎入学者選抜に関する照会先

九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話 0948-29-7520 (直通)

Mail : jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

入学者受入方針

1. 本学大学院博士後期課程の入学者受入方針

九州工業大学大学院は、開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき、高い専門性と深い学識を持ち、それらを活かして新時代を切り開く卓越した能力と豊かな創造性を備えた、高度技術者・研究者を育成します。

そのため、理工学系専門分野における高度技術者・研究者となるために、最先端の知識と研究開発能力、および他分野と接する境界領域の知識修得を目指す皆さんの入学を期待します。

本大学院が、入学者に期待することは以下のとおりです。

- (1) 技術者としての独創的な思考および、研究開発活動を行うための工学専門分野における高度な知識を持っている
- (2) 各専門分野が社会で果たすべき役割を理解している
- (3) 研究・開発の実践に必要な問題解決力を持っている
- (4) 新技術等の提案・公表に必要なプレゼンテーション力を持っている
- (5) 英語をはじめとする外国語によるコミュニケーション力を持っている
- (6) 自己の役割についての認識を深め、自発的に活動する態度を身につけている
- (7) 未知の専門的課題の解決に向けた企画立案や進捗管理ができる
- (8) チームの一員としてチーム活動の推進や改善に貢献しようとする態度を身につけている

これらの素養や態度をもつ皆さんを受け入れるため、入学者選抜においては、面接試験（口述試験）、修士論文およびその概要、研究（希望）計画書、これまでの業績・業務に関する報告書（業績リストや業績報告書、業務報告書等）、成績証明書等を基にした総合的な評価を実施します。

2. 大学院情報工学府博士後期課程の入学者受入方針

【技術者及び研究者としての養成目標】

情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に寄与する先端的な基盤技術の開発や、様々な分野の境界領域で発生する新しい課題に対処できる革新的な情報システムを構築し、更にDX時代の社会を牽引するグローバルリーダーとなり得る、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた情報工学分野のプロフェッショナルの養成を目指します。

【求める人材】

- (1) 高度情報化社会の様々な課題解決に必要な情報工学のいずれかの専門分野における問題解決能力と専門とは異なる分野に参入できる展開力を修得しており、
- (2) 研究開発の社会的波及効果を理解しながら未知の課題を探求し、
- (3) その解決のために情報工学的アプローチを用いて努力する強い意志と前向きな姿勢をもち、
- (4) 人と協調して問題解決に当たるための日本語と外国語による十分なコミュニケーション能力を有する人材を求めます。

【一般選抜で受け入れる人材】

- (1) 情報工学の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、
- (2) 外国語によるコミュニケーション能力を身につけ情報専門分野の新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、
- (3) 未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

【社会人特別選抜で受け入れる人材】

- (1) 社会人技術者・研究者としての経験を活かして、最新の知識・技術を体系的に修得し直すことで、社会の発展に寄与しようとする強い意欲を有し、
- (2) 情報工学・技術の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、
- (3) 外国語によるコミュニケーション能力を身につけ、情報専門分野の新技术等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、
- (4) 未知の専門的課題に対して、その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

【外国人留学生特別選抜で受け入れる人材】

- (1) 情報工学の研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し、
- (2) コミュニケーション能力を身につけ、情報専門分野の技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し、
- (3) 未知の専門的課題に対して、その課題に向けた計画立案と作業の管理能力を修得している人材を受け入れます。

3. 入学者選抜の基本方針

【一般選抜】

- (1), (2), (3)について、面接試験及び提出書類等により評価します。

【社会人特別選抜】

- (1), (2), (3), (4)について、書類審査及び面接試験により評価します。

【外国人留学生特別選抜】

- (1), (2), (3)について、面接試験及び提出書類等により評価します。

出願手続きの流れ Flowchart of application procedure

I 教員とのコンタクト Finding and making contact with the potential supervisor

情報工学府では各研究室の受け入れ人数に上限があること、また、入学後の研究内容等の不一致を防ぐために、出願前に指導を希望する教員に対し、出願者の学歴、研究テーマ等を伝えるなど、事前に希望指導教員と十分意思疎通を行った上で、出願することとなっている。

希望指導教員と十分な意思疎通が行われないまま出願した場合は、合否だけでなく研究室への配属に際し、不利な取り扱いを受けることがある。

There is a limited number of student places for each laboratory of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering. Also, to avoid clerical error, please make sure to discuss fully with your desired supervisor about your academic background and research theme before the application.

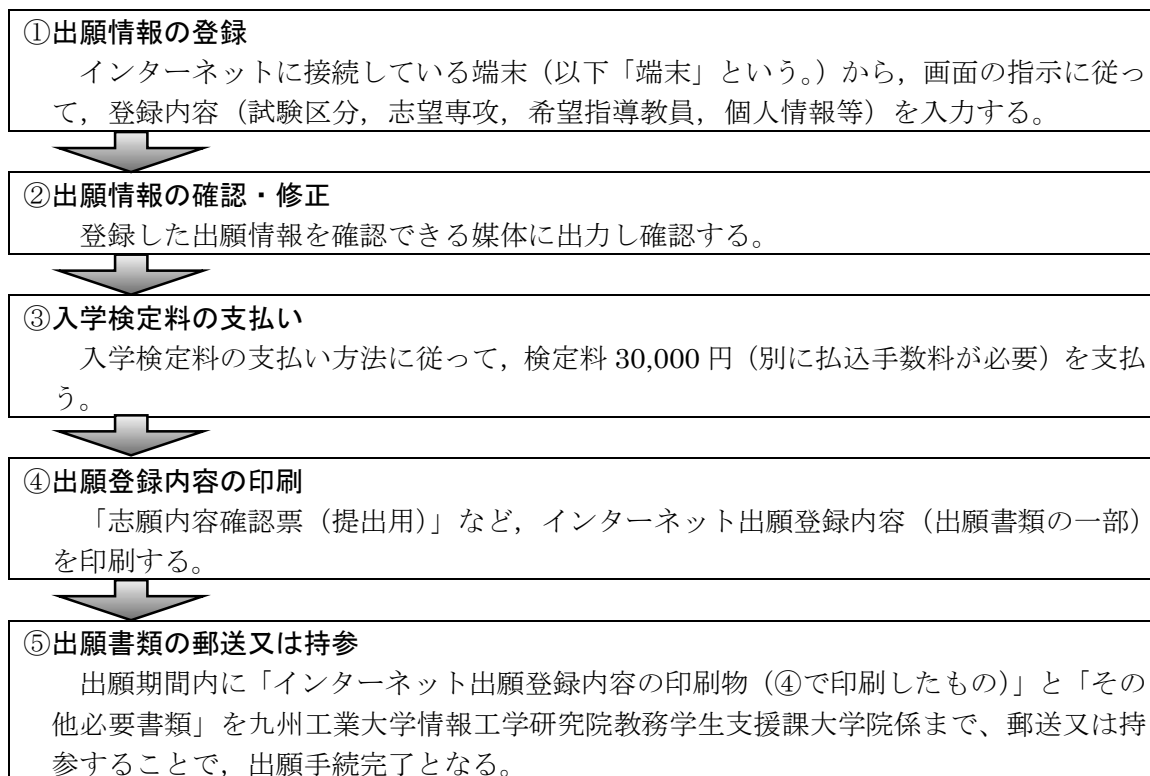
Note that if you apply without having enough communication with your desired supervisor, you may be unfavorably treated in the admission process and your lab assignment may be jeopardized as a result.

II インターネットを利用した出願手続きの流れ

Flowchart of application procedure using the Internet

募集要項の出願資格、出願期間、出願手続、選抜方法及び試験日等をすべて確認したうえで、次に記載するインターネットを利用した出願手続を行う。

After checking all the necessary information for applicants, such as the required qualification, application period, application procedure, selection methods and the date of the examination, you should follow the following procedure to apply on the internet.



◆◆◆ 重要 ◆◆◆

インターネット出願登録の手順は、下記URLから確認すること。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

【注1】インターネット出願手続きにおいて、事前準備が必要となる主な事項は、次のとおり。

(ア) 次のいずれかに該当する入学志願者は、インターネット出願登録を開始するためのパスワードが必要となる。出願することが確定した段階で、必ず情報工学研究院教務学生支援課大学院係 (jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp) へメール (※電話等は不可) で連絡の上、パスワードを取得すること。

- 1) 外国人留学生特別選抜に出願する者
- 2) 日本政府 (文部科学省) 国費外国人留学生
- 3) 本学が指定する自然災害により被災された志願者のうち、入学検定料の免除を希望する者

<該当する自然災害>

<https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html>

※ メールには、「志願者氏名」、「試験区分 (一般選抜, 社会人特別選抜又は外国人留学生特別選抜)」、「希望指導教員」及び「上記3つのいずれの条件に該当するか」を記入すること。

(イ) 入学検定料の支払い方法は、コンビニエンスストア、銀行ATM (ペイジー)、クレジットカード及びネットバンキングで行うこと。

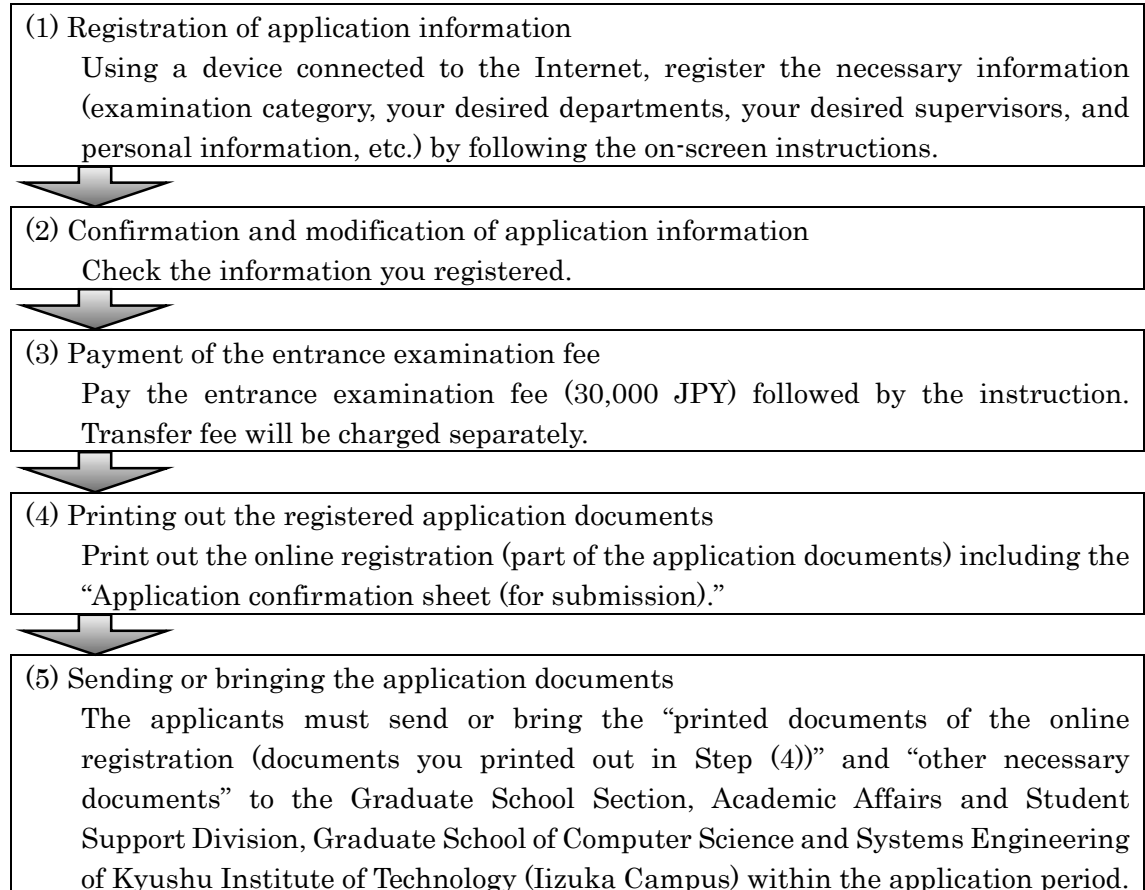
(ウ) メールアドレスは、入試に係る諸連絡を行うため、原則、大学等で割り当てられたものを使用すること。

(エ) インターネット出願登録内容等を印刷するため、A4サイズ of 用紙が印刷できるプリンタ (モノクロ、カラーどちらでも可) が必要となる。印刷用紙は普通紙で構わない。

(オ) 募集要項における各選抜の「出願書類」に記載された「その他必要書類」を用意すること。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合がありますので注意すること。

【注2】インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しておらず、出願期間内に各選抜における出願書類を郵送又は持参する必要がある。

【注3】自宅や在籍する学校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、速やかに入試課入試係 (093-884-3056) へ相談すること。



◆◆◆ Important ◆◆◆

Please access the following link for the application procedure.

Online registration website

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

【Note1】

The main items (other than Internet access) you need to prepare for the online registration are as follows.

i : Password

Any applicant who corresponds to any of the following must have a password to start online registration. Once the application is determined, make sure to notify the Graduate School Section, Academic Affairs and Student Support Division, Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp) by e-mail (*Phones are not available) to obtain the password.

1. Applicants for Special Admissions for International Students.
2. Japanese Government (Monbukagakusho:MEXT) Scholarships
3. Applicants who are the victims of the natural disaster which Kyushu Institute of Technology designates and request for the entrance examination fee waiver
[corresponding disaster]
<https://www.kyutech.ac.jp/information/disaster/taiou.html>

※ On your email, be sure to include the name of applicant, the examination category (Admissions for General Applicants, Special Admissions for Adult Students or Special Admissions for International Students), the desired Advisor, and which of 1 to 3 above you correspond to.

ii : Payment of the entrance examination fee

Pay the fee at a convenience store, by bank ATM (Pay-easy), credit card or Internet banking.

iii : E-mail address

Use the e-mail address given from your university in principle so that you will receive the information regarding entrance examinations from Kyutech.

iv : Printer

Prepare a printer that supports A4-sized (8 1/2 x 11') paper. Use the regular plain paper and print out the online registration form. Either in black-and-white or full color is fine.

v : Prepare “other necessary documents” listed on the application guideline. It may take time to prepare depending on the documents required.

【Note2】

It is still incomplete only having online registration. The applicants need to prepare all the documents listed on the application guideline and send by post or bring it to the office.

【Note3】

If the applicants do not have any Internet connections either at home or university you belong to, contact to Admissions Division (093-884-3056) immediately.

III 出願期間及びインターネット出願登録期間

Application period and Online registration period

	出願期間 Application period
第1次募集 令和7年4月入学 令和6年10月入学 First Session April 2025 Enrollment October 2024 Enrollment	令和6年5月20日(月)9時～5月24日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和6年5月13日(月)9時～5月24日(金)16時 Monday, May 20, 2024, 9 AM – Friday, May 24, 2024, 4 PM *Japan Time Online registration period Monday, May 13, 2024, 9 AM – Friday, May 24, 2024, 4 PM *Japan Time
第2次募集 令和7年4月入学 Second Session April 2025 Enrollment	令和7年1月14日(火)9時～1月17日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和7年1月6日(月)9時～1月17日(金)16時 Tuesday, January 14, 2025, 9 AM – Friday, January 17, 2025, 4 PM *Japan Time Online registration period Monday, January 6, 2025, 9 AM – Friday, January 17, 2025, 4 PM *Japan Time

※1：インターネット出願登録は出願期日に先立ち事前に登録が可能。

※2：入学検定料の支払い期間も同様。

*1：Pre-online registration will be available a week before the application period.

*2：The payment period of the examination fee is the same period as above.

IV 出願書類について Documents to be submitted

選抜毎に出願に必要な書類が異なるため、各学生募集要項を確認の上、必要な書類を所定の期日までに情報工学研究院教務学生支援課大学院係へ提出すること。

The documents you need to submit depend on the examination category. Refer to the each category on the application guideline and submit all the necessary documents to the Graduate School Section, Academic Affairs and Student Support Division, Graduate School of Computer Science and Systems Engineering within the application period

- ・一般選抜 Admissions for General Applicants 10 ページ
- ・社会人特別選抜 Special Admissions for Adult Students 16 ページ
- ・外国人留学生特別選抜 Special Admissions for International Students 23 ページ

V 出願書類の提出方法 How to submit

インターネット出願登録完了後、各選抜における「出願手続き」に記載された出願書類（インターネット出願登録内容の印刷物及びその他必要書類）を出願期間内に郵送又は持参すること。

After you have finished the online registration, send or bring the necessary documents listed on the application guideline within the application period.

(1) 日本国内から郵送する場合

市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願登録完了後に印刷した宛名ラベルを貼付、出願書類を封入のうえ、「簡易書留郵便」で郵送すること。

(2) 海外から郵送する場合

必ず「国際スピード郵便(EMS)」等の追跡可能な送付方法を利用し、封筒の表に「入学願書(APPLICATION DOCUMENTS)」と朱書の上、郵送すること。

(3) 持参の場合

情報工学研究院教務学生支援課大学院係の窓口提出すること。窓口受付時間は9時から16時まで(土・日・祝日は除く)。

※ 出願期間を超過した場合、その出願は受理できないため、提出方法を問わず、余裕を持って出願準備をしておくこと。

1. Sending by domestic mail

Prepare an envelope (240 mm x 332 mm, also called K2 size in Japan). Print out an address label from the online registration website and paste it on the envelope. Enclose the application documents and send it by “Simplified registration”.

2. Sending from overseas

When sending the documents from overseas, write the address below and make sure you use a tracking services such as EMS (Express mail). Be sure to write down “Application documents” in red on the front side of the envelope.

【Address】

Graduate School Section, Academic Affairs and Student Support Division,
Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus)
Kyushu Institute of Technology (Kyutech)
680-4 Kawazu, Iizuka-shi, Fukuoka 820-8502 JAPAN

3. Bringing directly to the office

Submit the application documents to the Graduate School Section of Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus). Office hours are from 9 AM to 4 PM on weekdays.

*Your application documents won't be accepted after the application period, so make preparation in good time regardless of how you apply.

VI 受験票 Admission ticket for examination

次の受験票公開期間中に受験票をインターネット出願登録サイトからダウンロードして、A4サイズで印刷し、試験当日に持参すること。(受験票の発送はしないので注意すること。)

なお、受験票の印刷手順は、インターネット出願登録サイトに掲載しているインターネット出願登録マニュアルを参照すること。

Download the admission ticket for examination from the Application registration website during the following open period of an admission ticket. Print it out with A4-sized (8 1/2 x 11') paper and bring it on the day of the examination. Note that refer to the online registration guideline of online registration website for printing procedure of admission ticket for examination.

	受験票公開期間 The open period of an admission ticket
第1次募集 令和7年4月入学 令和6年10月入学 First Session April 2025 Enrollment October 2024 Enrollment	令和6年6月24日(月)9時～7月7日(日)17時 Monday, June 24, 2024, 9 AM – Sunday, July 7, 2024, 5 PM *Japan Time
第2次募集 令和7年4月入学 Second Session April 2025 Enrollment	令和7年1月27日(月)9時～2月12日(水)17時 Monday, January 27, 2025, 9 AM – Wednesday, February 12, 2025, 5 PM *Japan Time

VII 出願上の注意事項 Advice on application procedure

(1) インターネット出願登録後、各選抜における「出願手続き」に記載された出願書類を、出願期間内に大学院係まで郵送又は持参することで、出願完了となる。
 インターネット出願での未登録又は出願期間内に書類が未提出の場合、出願未完了(登録データは無効)となるので、注意すること。

(2) 出願書類に不備がある場合は、出願を受理できないことがある。

(3) 既納の入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還できない。

ア 出願書類を提出しなかった場合

イ 出願書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ 誤って二重に支払った場合

(4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出した後は、出願登録内容を変更することはできない。

志願者自身で出願登録内容を変更する場合は、入学検定料の支払い方法確認画面の「登録」ボタンを押す前であれば可能である。また、「登録」ボタンを押した後も、入学検定料を支払う前であれば、再度出願登録をし直すことで出願登録内容を変更することができる。なお、入学検定料を支払った後、出願登録内容を修正する場合は、提出する出願書類「志願内容確認票(提出用)」のチェック欄を確認すること。

(5) 出願後に住所等を変更した場合は、速やかに情報工学研究院教務学生支援課大学院係へ連絡すること。

情報工学研究院教務学生支援課大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話：0948-29-7520(直通)

E-mail:jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

※ その他、インターネット出願登録マニュアル、入学検定料の支払い方法、インターネット出願登録に関するよくある質問など詳細については、インターネット出願登録サイトを
 確認すること。

1. After you have finished the online registration, send or bring the documents listed on the application guideline to the Graduate School Section within the application period. The application is thereby completed. Keep in mind that if you fail to submit the necessary documents within the application period, the application is incomplete (invalid registration).
2. The application documents may be rejected due to defect of form.
3. The entrance examination fee is non-refundable except in one of the following cases.
 - i When applicant fail to submit the necessary documents within the application period.
 - ii When the application documents are rejected due to defect of form.
 - iii When applicant pay twice amount of fee by mistake
4. Once you have paid the entrance examination fee and submitted the documents, you cannot change the registered information. You can still change the registered information at the online registration website on yourself until you press the “Registration” button. However, even after pressing the button, you can still change the registered information by starting a new registration all over again, only if the payment is incomplete. If you have already paid the fee, but would like to change the information before submitting the necessary documents, confirm the check fields of the “Application confirmation sheet (for submission)”.
5. Contact us below when you change the address, phone, mail address, and so on.

Graduate School Section, Academic Affairs and Student Support Division,
Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus)
Kyushu Institute of Technology (Kyutech)
680-4 Kawazu, Iizuka-shi, Fukuoka 820-8502 JAPAN
Phone: +81-(0)948-29-7520
E-mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

*For any other FAQs about the online registration guideline, the payment of the entrance examination fee and online registration, please refer to our online registration website.

令和7年4月入学・令和6年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府（博士後期課程）
一般選抜募集要項

1. 募集人員

専攻名	第1次募集		第2次募集
	令和7年4月入学	令和6年10月入学	令和7年4月入学
情報創成工学	20名	若干名	若干名

【注】第1次募集の結果により第2次募集を行わない場合がある。

2. 出願資格

- (1) 日本の修士の学位を有する者及び令和7年3月（ただし、令和6年10月入学志願者は、令和6年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び令和7年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (7) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 本学府において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和7年3月までに24歳に達する者

【注】出願資格(7)から(9)によって出願を希望する者は、出願以前に「資格審査」が必要となるため34ページの「出願資格の審査申請について」を熟読し、あらかじめ問合せ窓口に連絡すること。

(問合せ窓口)

九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話：0948-29-7520（直通）

E-mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

3. 出願手続きの流れ

出願資格等を確認の上、必ず3ページの「出願手続きの流れ」及びインターネット出願登録サイト内の「インターネット出願登録マニュアル」に従って手続きを行うこと。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-master.html>

4. 出願期間及びインターネット出願登録期間

	出願期間
第1次募集 令和7年4月入学 令和6年10月入学	令和6年5月20日(月)9時～5月24日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和6年5月13日(月)9時～5月24日(金)16時
第2次募集 令和7年4月入学	令和7年1月14日(火)9時～1月17日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和7年1月6日(月)9時～1月17日(金)16時

※1：インターネット出願登録は出願期日に先立ち事前に登録が可能。

※2：入学検定料の支払い期間も同様。

5. 出願書類

志願者は、インターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を所定の期日までに情報工学研究院教務学生支援課大学院係へ提出すること。

区分	出願書類等	注意事項
インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票(提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。(A4サイズ)
	②写真票	以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に氏名を記入した上で、写真票に貼り付けること。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦45mm×横35mmのもの。 ・画像が鮮明であること。
	③宛名ラベル	提出書類を日本国内から郵送する者は、宛名ラベルを使用すること。なお、インターネット出願登録後、印刷した宛名ラベルは市販の角形2号封筒(240mm×332mm)の表面に貼付すること。 注：提出書類を大学院係へ直接持参する場合や、海外から郵送する場合は、宛名ラベルの印刷・提出は不要。

その他必要書類	④修士の学位取得 (見込)証明書	<p>出身大学等が作成したもの。 ただし、本学府博士前期課程を修了(見込み)の者は提出不要。 また、出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。 注：証明書(原本)は大学等で厳封(封緘)されたものを、提出すること。</p>
	⑤成績証明書	<p>出身大学等の学長、研究科等(大学以外は出身学校長)が作成したものを提出すること。 ただし、本学府博士前期課程を修了(見込み)の者は提出不要。また出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。 注：証明書(原本)は大学等で厳封(封緘)されたものを、提出すること。</p>
	⑥研究(希望)計画書	<p>本学府における研究(希望)計画(1,000字程度)を作成すること。 様式は、本学ホームページからダウンロードすること。 (https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html)</p>
	⑦修士論文及びその概要	<p>修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要(2,000字程度)を提出すること。 様式は、本学ホームページからダウンロードすること。 (https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html) 修士取得見込者及び修士論文未作成の者は、これに代えて研究内容が確認できる資料を提出すること。 ただし、本学府博士前期課程を修了(見込み)の者は提出不要。 また、出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。</p>
	⑧公表論文等の業績リスト	<p>可能な限り、別刷を添付すること。(様式任意)</p>
	⑨「パスポートの写し」及び「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」	<p>外国人志願者のみ提出すること。 ただし、「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」は、日本国内に居住する外国人志願者のみ提出すること。</p>

6. 出願書類の提出方法

出願書類の提出方法に関する詳細については、必ず3ページの「出願手続きの流れ」に従って手続きを行うこと。

7. 選抜方法

<第1次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

(1) 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文，博士後期課程入学後の研究計画，専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

<第2次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

なお、面接試験は修士論文又はそれに代わる研究論文，博士後期課程入学後の研究計画，専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

8. 受験票

受験票の取得詳細は、「出願手続きの流れ」3ページを確認すること

9. 選抜日時及び場所

(1) 選抜日時

	試験科目	期日
第1次募集	面接	令和6年7月7日（日）9時～
第2次募集	面接	令和7年2月12日（水）9時～

(2) 選抜場所

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）

【注】 ① 第1次募集及び第2次募集の選抜日時及び選抜場所については、志願者と相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。

② 自然災害等不測の事態が発生した場合、以下の日程を予備日とする。

(3) 予備日

	試験科目	期日
第1次募集	面接	令和6年7月21日（日）9時～
第2次募集	面接	令和7年2月21日（金）9時～

※ 予備日については、【14. 不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

10. 合格発表

以下の日時において、本学ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) で合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。なお、電話等による可否の問合せには応じない。

	期日
第1次募集	令和6年7月19日(金)10時
第2次募集	令和7年2月21日(金)10時

※ 不測の事態による試験日の延期等が行われた場合、合格発表の日程を変更する場合がある。詳細は【14. 不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

【注】合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、外字等で表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記される場合がある。

11. 注意事項

- (1) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
- (2) 既納の入学検定料は、原則還付しない。
- (3) 身体に障がいがあり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学研究院教務学生支援課大学院係に相談すること。
- (4) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
- (5) 筆記試験開始後30分以上遅刻した者の受験は認めない。
- (6) 筆記試験開始後30分経過するまでは、試験室からの退室を認めない。
- (7) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学研究院教務学生支援課大学院係宛に行うこと。

12. 入学手続きに必要な経費

- (1) 入学金 282,000円
 ※ 本学大学院博士前期課程修了見込みの者で、引き続き博士後期課程に内部進学する者からは入学金を徴収しない。
- (2) 授業料 267,900円(前期分)
 ※ 上記の入学金・授業料は令和6年度の金額であり、令和7年度のコレは未定である。入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する
- (3) 諸納金 学生教育研究災害傷害保険料等

13. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び人材交流等の観点から輸出管理体制を整備しており、外国人留学生の受け入れにおいても厳格な審査を実施している。

規制事項に該当する外国人留学生は、希望する教育研究に取り組むことができない場合があるので、出願前に下記のホームページを参照しておくこと。

<九州工業大学安全保障輸出管理サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/exchange/ampo.html>

14. 不測の事態発生時における諸連絡について

不測の事態等により、所定の日程に入学試験を実施することが困難であると本学が判断した場合、入学試験及び合格発表の中止や日程の延期等の対応を講じることがある。ただし、これに伴う受験者の個人的損害について、本学は責任を負わない。

なお、不測の事態が発生した場合の対応については、本学ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) 等において告知する。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、ただちに情報工学研究院教務学生支援課大学院係（0948-29-7520）に連絡すること。

令和7年4月入学・令和6年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府（博士後期課程）
社会人特別選抜募集要項

1. 趣旨

本学府は、社会に開かれた大学として、企業等の研究者・技術者を受け入れ、大学院レベルの修学の間を提供することにより、企業等の研究者・技術者の職業能力の開発、継続研修、再教育を通じて、社会の発展に寄与する。

2. 募集人員

専攻名	第1次募集		第2次募集
	令和7年4月入学	令和6年10月入学	令和7年4月入学
情報創成工学	若干名	若干名	若干名

【注】第1次募集の結果により第2次募集を行わない場合がある。

3. 出願資格

在籍する企業等から推薦をうけた研究者・技術者等で、大学等において、本学府と関連する系統の専門教育を受けた者又は企業等で本学府の専門に関連した経験を原則として1年以上有している者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 日本の修士の学位を有する者及び令和7年3月（ただし、令和6年10月入学志願者は、令和6年9月とする。以下の各号において同じ。）までに取得見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了し、文部科学大臣の定める学位を有する者及び令和7年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (7) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

- (9) 本学府において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び令和7年3月までに24歳に達する者

【注】 出願資格(7)から(9)によって出願を希望する者は、出願以前に「資格審査」が必要となるため34ページの「出願資格の審査申請について」を熟読し、あらかじめ問合せ窓口に連絡すること。

(問合せ窓口)

九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話：0948-29-7520（直通）

Mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

4. 出願手続きの流れ

出願資格等を確認の上、必ず3ページの「出願手続きの流れ」及びインターネット出願登録サイト内の「インターネット出願登録マニュアル」に従って手続きを行うこと。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html>

5. 出願期間及びインターネット出願登録期間

	出願期間
第1次募集 令和7年4月入学 令和6年10月入学	令和6年5月20日(月)9時～5月24日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和6年5月13日(月)9時～5月24日(金)16時
第2次募集 令和7年4月入学	令和7年1月14日(火)9時～1月17日(金)16時 インターネット出願登録期間 令和7年1月6日(月)9時～1月17日(金)16時

※1：インターネット出願登録は出願期日に先立ち事前に登録が可能。

※2：入学検定料の支払い期間も同様。

6. 出願書類

志願者は、インターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を所定の期日までに情報工学研究院教務学生支援課大学院係に提出すること。

区分	出願書類等	注意事項
インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。(A4 サイズ)
	②写真票	以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に氏名を記入した上で、写真票に貼付すること。 ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦 45mm×横 35mm のもの。 ・画像が鮮明であること。
	③宛名ラベル	提出書類を日本国内から郵送する者は、宛名ラベルを使用すること。なお、インターネット出願登録後、印刷した宛名ラベルは市販の角形 2 号封筒 (240mm×332mm) の表面に貼付すること。 注：提出書類を大学院係へ直接持参する場合や、海外から郵送する場合は、宛名ラベルの印刷・提出は不要。
その他必要書類	④修士の学位取得 (見込) 証明書	出身大学等が作成したもの。 ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。 注：証明書(原本)は大学等で厳封(封緘)されたものを、提出すること。
	⑤受験承諾書	現在の勤務先の所属長が作成したもの。(様式任意)
	⑥成績証明書	出身大学等の学長、研究科長等(大学以外は出身学校長)が作成したものを提出すること。 ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。 注：証明書(原本)は大学等で厳封(封緘)されたものを、提出すること。
	⑦研究(希望)計画書	本学府における研究(希望)計画(1,000字程度)を作成すること。 様式は、本学ホームページからダウンロードすること。 (https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html)

その他必要書類	⑧修士論文及びその概要	修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要(2,000字程度)を提出すること。 様式は、本学ホームページからダウンロードすること。 (https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html) ただし、出願資格(7)から(9)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。
	⑨業績報告書	修士論文の他に研究論文を有する者が提出すること。 なお、様式任意とするが、可能な限り別刷及び業績概要を添付すること。
	⑩業務報告書	今までに携わった研究・技術職について、その内容を詳しく記入すること。(様式任意)
	⑪「パスポートの写し」及び「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」	外国人志願者のみ提出すること。 ただし、「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」は、日本国内に居住する外国人志願者のみ提出すること。

7. 出願書類の提出方法

出願書類の提出方法に関する詳細については、必ず3ページの「出願手続きの流れ」に従って手続きを行うこと。

8. 選抜方法

<第1次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

(1) 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

<第2次募集>

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験の結果を総合して行う。

なお、面接試験は受験承諾書、研究(希望)計画書、修士論文又はそれに代わる研究論文、業績報告書及び業務報告書に関して口述試験を行う。

9. 受験票

受験票の取得に詳細は、「出願手続きの流れ」3ページを確認すること。

10. 選抜日時及び場所

(1) 選抜日時

	試験科目	期日
第1次募集	面接	令和6年7月7日(日)9時～
第2次募集	面接	令和7年2月12日(水)9時～

(2) 選抜場所

九州工業大学情報工学部(飯塚キャンパス)

【注】① 第1次募集及び第2次募集の選抜日時及び選抜場所については、志願者に相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。

② 自然災害等不測の事態が発生した場合、以下の日程を予備日とする。

(3) 予備日

	試験科目	期日
第1次募集	面接	令和6年7月21日(日)9時～
第2次募集	面接	令和7年2月21日(金)9時～

※ 予備日については、【15. 不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

11. 合格発表

以下の日時において、本学ホームページ(<https://www.kyutech.ac.jp/>)で合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。なお、電話等による可否の問合せには応じない。

	期日
第1次募集	令和6年7月19日(金)10時
第2次募集	令和7年2月21日(金)10時

※ 不測の事態による試験日の延期等が行われた場合、合格発表の日程を変更する場合がある。詳細は【15. 不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

【注】合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、外字等で表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記される場合がある。

12. 注意事項

- (1) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
- (2) 既納の入学検定料は、原則還付しない。
- (3) 身体に障がいがあり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学研究院教務学生支援課大学院係に相談すること。
- (4) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
- (5) 筆記試験開始後 30 分以上遅刻した者の受験は認めない。
- (6) 筆記試験開始後 30 分経過するまでは、試験室からの退室を認めない。
- (7) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学研究院教務学生支援課大学院係宛に行うこと。

13. 入学手続きに必要な経費

- (1) 入学金 282,000 円
- (2) 授業料 267,900 円（前期分）
※ 上記の入学金・授業料は令和 6 年度の金額であり、令和 7 年度のコ額は未定である。
入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する。
- (3) 諸納金 学生教育研究災害傷害保険料等

14. 安全保障輸出管理について

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び人材交流等の観点から輸出管理体制を整備しており、外国人留学生の受け入れにおいても厳格な審査を実施している。

規制事項に該当する外国人留学生は、希望する教育研究に取り組むことができない場合があるので、下記のホームページを参照しておくこと。

<九州工業大学安全保障輸出管理サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html>

15. 不測の事態発生時における諸連絡について

不測の事態等により、所定の日程に入学試験を実施することが困難であると本学が判断した場合、入学試験及び合格発表の中止や日程の延期等の対応を講じることがある。ただし、これに伴う受験者の個人的損害について、本学は責任を負わない。

なお、不測の事態が発生した場合の対応については、本学ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) 等において告知する。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、ただちに情報工学研究院教務学生支援課大学院係（0948-29-7520）に連絡すること。

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

近年、大学院における社会人技術者、研究者の再教育への要望が高まっているが、通常の方法のみで大学院博士課程教育を実施した場合、社会人技術者、研究者は原則として最低3年間その勤務を離れて就学することが必要なため、大学院教育を受ける機会が制約されがちである。

このため、大学院設置基準第14条では「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人技術者、研究者の就学の特例措置を行うことができるよう配慮がなされている。

これらを踏まえて、本学大学院情報工学府では、社会人技術者、研究者が就学する場合、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育を実施する。

教育方法の特例の概要は、次のとおりである。

- (1) 課程修了に必要な10単位のうち、特別講究(2単位)及び特別実験演習(2単位)の一部を適宜特例により修得させる。また、課程修了に必要な特別講究及び特別実験演習以外の授業科目(6単位)については、授業担当教員の合意を得て、必要に応じて適宜特例により修得させる。
- (2) 特例の授業時間帯は、夜間の1時限(18時00分～19時30分)とする。
- (3) 勤務の都合上3年間で修了することが困難な場合は、指導教員の指導のもとに、履修期間を長期化(5～6年間)することができる。長期履修制度の詳細については、35ページの「長期履修制度について」を確認すること。
- (4) 学位論文が計画どおり十分に進捗しており、かつ、勤務する企業等が研究に係る優れた施設や設備を有する場合であって、それを利用した方が、研究成果が上がると指導教員が認める場合は、勤務する企業等においても研究することができる。
- (5) 勤務の都合から「特例」による履修計画に変更が生じる恐れがある場合は、その都度申し出て許可を得る必要がある。

令和7年4月入学・令和6年10月入学
九州工業大学大学院情報工学府（博士後期課程）
外国人留学生特別選抜募集要項

April 2025 Enrollment / October 2024 Enrollment
Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Doctoral Programs),
Kyushu Institute of Technology
Application Guideline for Special Admissions for International Students

1. 募集人員 Number of Applicants Accepted

専攻名 Department	第1次募集 First Session		第2次募集 Second Session
	令和7年4月入学 April, 2025 Enrollment	令和6年10月月入学 October, 2024 Enrollment	令和7年4月入学 April, 2025 Enrollment
情報創成工学 Creative Informatics	若干名 A few	若干名 A few	若干名 A few

【注】第1次募集の結果により第2次募集を行わない場合がある。

Note The Second Session may not be held depending on the results of the First Session.

2. 出願資格 Required Qualifications to Apply

日本国籍を有しない者で、次の(1)から(7)のいずれかに該当し、かつ(8)の条件を満たす者。

- (1) 外国において修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下の各号において同じ。）に相当する学位を授与された者及び令和7年3月（ただし、令和6年10月入学志願者は、令和6年9月とする。以下の各号において同じ。）までに授与される見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (4) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- (5) 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本学府において当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 本学府において個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和7年3月までに24歳に達する者
- (8) 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学後に取得

可能な者

【注】① 日本の国籍を有しない者で、日本の修士の学位又は専門職学位を有する者（令和 7 年 3 月までに取得見込みの者を含む。）は、当該特別選抜の対象とはしない。

② 出願資格(5)から(7)によって出願を希望する者は、出願以前に「資格審査」が必要となるため 34 ページの「出願資格の審査申請について」を熟読し、あらかじめ問合せ窓口に連絡すること。

(問合せ窓口)

九州工業大学情報工学研究院教務学生支援課大学院係

〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4

電話：0948-29-7520（直通）

E-mail:jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

Applicant must be a non-Japanese citizen who meets one of the following requirements 1 - 7, in addition to requirement 8:

1. Has received or expects to receive a master's degree, professional degree, or their equivalent from an educational institution outside of Japan by March 2025. *A professional degree is stipulated in Clause 5-2 of Degree Regulations (Ordinance No. 9 of the Ministry of Education of Japan issued in 1953), in accordance with the 1st clause of Article 104 of the School Education Act of Japan. This shall be applied to all the following requirements. *Applicants applying for October 2024 enrollment must complete a master's degree, professional degree or their equivalent by September 2024. This shall be applied to all the following requirements.
2. Has successfully completed or expects to complete a master's, professional degree program or the equivalent in Japan through a correspondence course from an educational institution outside of Japan, and has received or expects to receive a master's degree, professional degree or their equivalent by March 2025.
3. Has successfully completed or expects to complete a master's, professional degree program or the equivalent and has received or expects to receive a master's degree, professional degree, or their equivalent by March 2025 at a non-Japanese educational institution in Japan which is recognized by his or her country, and designated by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science, and Technology, as having a graduate level program.
4. Has successfully completed a course at United Nations University and received a degree equivalent to a master's degree or expects to complete a program and receive such a degree by the end of March 2025.
5. Has engaged in at least two years of research at a university or a research institute after receiving a bachelor's degree from a Japanese university, and is recognized by this Institute as having accredited academic ability equal to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder based on their research accomplishments.
6. Has engaged in at least two years of research at a university or a research institute after completing sixteen years of education or the equivalent at an educational institution outside of Japan*, and is recognized by our Institute as having accredited academic ability equal to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder based on their research accomplishments. *This includes completing a program in Japan through a correspondence course from an educational institution outside of Japan.
7. Has academic ability which has been assessed as equivalent to or surpassing the level of a master's degree or professional degree holder by individual screening of admission

qualifications, and is over 24 years old or will be 24 years old by March 2025.

8. Has obtained a Student Visa (study abroad) as stipulated by the Emigration and Immigration Management and Refugee Recognition Law of Japan, or can obtain a student visa in Japan upon the admission to the Japanese Graduate School.

*Note 1. Non-Japanese citizens who have received or expect to receive a master's degree or professional degree from a Japanese educational institution by March 2025 are not eligible for this category.

*Note 2. Applicants who wish to apply according to the aforementioned qualification requirements 5 to 7 should read “Examination Application for Applicant Eligibility” on page 34 carefully and contact us below in advance.

[Contact us]

Graduate School Section, Graduate School of Computer Science and Systems
Engineering (Iizuka Campus),
Kyushu Institute of Technology (Kyutech)
680-4 Kawazu, Iizuka-shi, Fukuoka, 820-8502 JAPAN
Phone: +81-(0)948-29-7520
E-mail: jho-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

3. 出願手続きの流れ Flowchart of Application Procedure

出願資格等を確認の上、必ず3ページの「出願手続きの流れ」及びインターネット出願登録サイト内の「インターネット出願登録マニュアル」に従って手続きを行うこと。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/examination/gs-internet-application.html> (日本語)

Please read carefully about qualifications to apply, check the Flowchart of Application Procedure on page 3 of application procedure.

<Online registration website>

<https://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/gs-internet-application.html> (English)

4. 出願期間及びインターネット出願登録期間

Application Period and Online Registration Period

	出願期間 Application Period
第1次募集 令和7年4月入学 令和6年10月入学 First Session April 2025 Enrollment October 2024 Enrollment	令和6年5月20日(月)9時～5月24日(金)16時 Monday, May 20, 2024, 9 AM – Friday, May 24, 2024, 4 PM *Japan Time インターネット出願登録期間 Online Registration Period 令和6年5月13日(月)9時～5月24日(金)16時 Monday, May 13, 2024, 9 AM – Friday, May 24, 2024, 4 PM *Japan Time
第2次募集 令和7年4月入学 Second Session April 2025 Enrollment	令和7年1月14日(火)9時～1月17日(金)16時 Tuesday, January 14, 2025, 9 AM – Friday, January 17, 2025, 4 PM *Japan Time インターネット出願登録期間 Online Registration Period 令和7年1月6日(月)9時～1月17日(金)16時 Monday, January 6, 2025, 9 AM – Friday, January 17, 2025, 4 PM *Japan Time

※1：インターネット出願登録は出願期日に先立ち事前に登録が可能。

※2：入学検定料の支払い期間も同様。

*1 Pre-online registration will be available a week before the Application Period.

*2 The payment period of the examination fee is the same period as above.

5. 出願書類 Documents to be Submitted

志願者は、インターネット出願登録完了後、次に掲げる書類等を所定の期日までに情報工学研究院教務学生支援課大学院係に提出すること。

Applicants must submit all of the following documents, after you have finished the online registration, to the Graduate School Section, the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering, within the Application Period.

区分 Categories	出願書類等 Required Documents	注意事項 Notes
Printed Documents of the Online Registration インターネット出願登録内容の印刷物	①志願内容確認票 (提出用) [1] Application Confirmation Sheet (for submission)	インターネット出願登録後、印刷したもの。 Print it out after you have finished the online registration.
	②写真票 [2] Photo Card	以下の条件を満たす写真を用意し、裏面に氏名を記入した上で、写真票に貼付すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・上半身・無帽・正面向きで、3ヶ月以内に単身撮影したもの。 ・縦45mm×横35mmのもの。 ・画像が鮮明であること。 Prepare your photograph that meets the conditions below, write your name on its back and paste it to the photo card. The photograph must be: <ul style="list-style-type: none"> ・the applicant's upper body, frontal view without a hat, and taken within three months; ・45 (height) mm x 35 (width) mm; ・clear image.
	③宛名ラベル [3] Address Label	提出書類を日本国内から郵送する者は、宛名ラベルを使用すること。なお、インターネット出願登録後、印刷した宛名ラベルは市販の角形2号封筒(240mm×332mm)の表面に貼付すること。 注：提出書類を大学院係へ直接持参する場合や、海外から郵送する場合は、宛名ラベルの印刷・提出は不要。 If you are sending the necessary documents by domestic mail, print out an Address Label from the online registration website and paste it on an envelope (240mm x 332 mm, called K2 size in Japan). Note: When you carry on the required documents to the Graduate School Section or send from overseas, you do not need to print out or submit the Address Label.

Additional necessary documents その他必要書類	④修士の学位取得 (見込)証明書 [4] Certificate of Master's Degree (or Certificate of Expected Master's Degree)	<p>出身大学等が作成したもので、修士の学位取得（見込）が記載されているもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆原本を提出できない場合 公的機関（原本の発行機関，大使館，公証役場等）で原本証明されたものを提出すること。 ◆日本語，英語以外の証明書の場合 出身大学が発行した日本語または英語訳を提出すること。 ※ 出身大学がそれらを発行できない場合は，公的機関（大使館または公証役場）が翻訳内容を証明した日本語または英語訳も可。ただし，公的機関による証明であっても，本人や日本語学校等が翻訳したもの，翻訳内容ではなく申請者の宣誓が証明されたもの，翻訳文書に対する署名認証がされたものは不可。 <p>Submit the original documents issued by the institution such as graduating schools and listed that Master degree conferred (expected) on.</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆In case you are not able to submit the original documents: Submit the certified true copies authorized by the official organization such as embassy or notary public office in your home country. ◆In case the certificates are written in other than Japanese or English: Attach Japanese or English translation of the documents issued by your graduating school. ※If the graduating school is not able to provide the Japanese or English translation, you can submit the notarized translation issued by the embassy or notary public office. However the following certificate is not acceptable even if it is authorized: <ul style="list-style-type: none"> ・ Translated by the applicants themselves or Japanese language schools. ・ Certified not the contents of the translation but the oath of the applicants. ・ Certification of signatures regarding to the translations.
	⑤成績証明書 [5] Transcripts	<p>出身大学等が作成した成績証明書の原本を提出する。</p> <p>Submit the original documents issued by the institution such as graduating schools.</p> <p>Please act the same manner as ※ in the colum ④.</p>
	⑥研究（希望）計画書 [6] Research Plan	<p>本学府における研究（希望）計画（1,000字程度）を記入すること。様式は，以下本学ホームページからダウンロードしたものを使用すること。</p> <p>(https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html)</p> <p>Submit a research plan for the doctoral course.</p> <p>Download the form from our university website below.</p> <p>https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html</p>

<p>Additional necessary documents その他必要書類</p>	<p>⑦修士論文及びその概要 [7] Master's Thesis and Abstract</p>	<p>修士号取得者は修士論文及びその論文の内容を要約した概要(2,000字程度)を提出すること。 修士号取得見込者及び修士論文未作成の者は、これに代えて研究内容が確認できる資料を提出すること。 ただし、学生募集要項の出願資格(5)から(7)により出願する者は出願に先立って行われる出願資格審査時に提出するため、出願時の提出不要。 なお、様式は以下本学ホームページからダウンロードしたものを使用すること。 (https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html) Individuals who have received a master's degree are required to submit their Master's Thesis as well as an Abstract. Applicants who have not yet received a master's degree are exempted from submission. Applicants who expect to receive the master's degree or who have not written master's thesis are required to submit the subject matter report, research achievement report or the progress report on their study etc. of an equivalent to the thesis. The format is up to applicants. *Exception: Applicants who apply according to qualification requirements 5 to 7 are exempted from submission. *Download the form from our university website below. https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html</p>
	<p>⑧公表論文等の業績リスト [8] List of Academic Achievements (Published papers etc.)</p>	<p>可能な限り、別刷を添付すること。(様式任意) Attach offprint as many as possible. *Format is up to applicant.</p>
	<p>⑨「パスポートの写し」及び「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」 [9] A copy of Passport, Residence Card, Special Permanent Resident Certificate or Certificate of Residence</p>	<p>「在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し」は、日本国内に居住する志願者のみ提出すること。 Only non-Japanese applicants who reside in Japan need to submit the Residence Card, Special Permanent Resident Certificate of Certificate of Residence. *Exception: Non-Japanese applicants who reside outside of Japan need to submit a copy of the passport.</p>

6. 出願書類の提出方法 How to Submit the Application Documents

出願書類の提出方法に関する詳細については、必ず3ページの「出願手続きの流れ」に従って手続きを行うこと。

Please follow the Flowchart of Application Procedure on page 3 about the detail of how to submit the application documents.

7. 選抜方法 Selection Methods

<第1次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

(1) 面接試験

修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

<第2次募集>

入学者の選抜は、面接試験及び提出書類等を総合して行う。

なお、面接試験は修士論文又はそれに代わる研究論文、博士後期課程入学後の研究計画、専門学力及び成績証明書の内容等に関して口述試験を行う。

[First Session]

Selection of admission students are made through a comprehensive evaluation based on an interview examination and submitted documents.

Interview Examination <First Screening>

Applicants will be evaluated by an interview based on the submitted Master's Thesis or equivalent research paper, research plan after being admitted into the Doctoral Course, academic ability in their field, and Transcripts.

[Second Session]

Selection of admission students are made through a comprehensive evaluation based on an interview examination and the submitted documents.

Regarding interview examination, applicants will be evaluated by an interview based on their submitted Master's Thesis or equivalent research paper, research plan after being admitted into the Doctoral course, academic ability in their field and transcripts.

8. 受験票 Admission Ticket for Examination

受験票の取得に詳細は、「出願手続きの流れ」3 ページを確認すること。

For the detail of how to get an Admission Ticket for Examination, refer to the Flowchart of Application Procedure on page 3.

9. 選抜日時及び場所 Examination Date & Venue

(1) 選抜日時 Examination Date and Time

	試験科目 Examination	期日 Date and Time
第1次募集 First Session	面接 Interview Examination	令和6年7月7日(日)9時～ Sunday, July 7, 2024, 9 AM *Japan Time
第2次募集 Second Session	面接 Interview Examination	令和7年2月12日(水)9時～ Wednesday, February 12, 2025, 9 AM *Japan Time

(2) 選抜場所 Examination Venue

九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）

Graduate School of Computer Science and Systems Engineering (Iizuka Campus),
Kyushu Institute of Technology

【注】① 第1次募集及び第2次募集の選抜日時及び選抜場所については、志願者と相談のうえ変更することがある。この場合は、後日連絡を行う。

② 面接試験は、インターネットを利用して実施することがある。

③ 自然災害等不測の事態が発生した場合、以下の日程を予備日とする。

[Note] ① If the need arises to change the date and venue of the examination for First and Second session, applicant will be contacted, and the new date/venue will be determined upon consultation with applicant.

② The interview examination may be given by online.

③ Due to the consideration of unforeseen circumstances during natural disasters, the following days are prepared.

(3) 予備日*Prepared date of Examination due to natural disasters and etc>

	試験科目 Examination	期日 Date and Time
第1次募集 First Session	面接 Interview Examination	令和6年7月21日（日）9時～ Sunday, July 21, 2024, 9 AM *Japan Time
第2次募集 Second Session	面接 Interview Examination	令和7年2月21日（金）9時～ Friday, February 21, 2025, 9 AM *Japan Time

※ 予備日については、【15. 不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

*Regarding spared days, refer to “15. Emergency Contact in the Event of Unforeseen Circumstances”.

10. 合格発表 Announcement of Successful Applicants

以下の日時において、本学ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) で合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書を送付する。なお、電話等による合否の問合せには応じない。

A list of successful applicants by examination card number will be displayed on our university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>) at the following dates as well we by postal mail. Results cannot be given by phone, fax, or email.

	期日 Date and Time
第1次募集 First Session	令和6年7月19日（金）10時 Friday, July 19, 2024, 10 AM*Japan Time
第2次募集 Second Session	令和7年2月21日（金）10時 Friday, February 21, 2025, 10 AM *Japan Time

※ 不測の事態による試験日の延期等が行われた場合、合格発表の日程を変更する場合があります。詳細は【15.不測の事態発生時における諸連絡について】を参照すること。

*If the entrance examination cannot be administered as scheduled due to unforeseen circumstances during natural disasters, the day of the announcement of successful applicants may be changed. Please confirm “15. Emergency Contact in the Event of Unforeseen circumstances”.

【注】合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について、外字等で表記できない文字は、文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記する場合があります。

[Note] Regarding the notation of personal names in Kanji on acceptance letters, etc.

For names, characters that cannot be written in external characters may be replaced or written in Katakana.

11. 留学生のための特別コース Special Course for International Students

本学では留学生を対象にした特別コースを設置しています。詳細は本学ホームページ (<https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/graduate/infomation#i-4>) を確認してください。

Kyutech has Special Course for International Students. Please check the Website for details. (<https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/graduate/infomation#i-4>)

12. 注意事項 Notes

- (1) 出願手続き後の提出書類の記載事項の変更は認めない。
 - (2) 既納の入学検定料は、原則還付しない。
 - (3) 身体に障がいがあり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、なるべく早い時期に情報工学研究院教務学生支援課大学院係に相談すること。
 - (4) 受験の際は、必ず受験票を携帯すること。
 - (5) 筆記試験開始後 30 分以上遅刻した者の受験は認めない。
 - (6) 筆記試験開始後 30 分経過するまでは、試験室からの退室を認めない。
 - (7) その他入学者選抜に関する照会は、情報工学研究院教務学生支援課大学院係宛に行うこと。
1. No revisions may be made to any documents once they have been submitted.
 2. The entrance examination fee is non-refundable.
 3. Applicants who have a handicap and need special care during the examination or in class, should consult the Graduate School Section of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering at an early date.
 4. Applicants must have your examination card in order to take the examination.
 5. Applicants arriving 30 minutes or later after the written examination has started will not be allowed to take the examination.
 6. Applicants are prohibited from leaving the examination room until 30 minutes after the written examination has started.
 7. For any further inquiries regarding admission examination, please contact the Graduate School Section of the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering

13. 入学手続き時に必要な経費 Admission Fees

(1) 入学金 282,000 円

(2) 授業料 267,900 円 (前期分)

※ 上記の入学金・授業料は令和 6 年度の金額であり、令和 7 年度のコ額は未定である。入学希望者へは、入学手続書類を送付する際に確定額を通知する。

(3) 諸納金 学生教育研究災害傷害保険料等

1. Entrance Fee: JPY 282,000

2. Tuition Fee: JPY 267,900 (First term: 6 months)

Aforementioned Entrance and Tuition Fees are for 2024 enrollment and may be revised for 2025 enrollment. Applicants will be informed of the finalized amount in your admission procedure documents.

3. Others: Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research

14. 安全保障輸出管理について Security Export Control

九州工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、技術の提供及び人材交流等の観点から輸出管理体制を整備しており、外国人留学生の受け入れにおいても厳格な審査を実施している。

規制事項に該当する外国人留学生は、希望する教育研究に取り組むことができない場合があるので、出願前に下記のホームページを参照しておくこと。

<九州工業大学安全保障輸出管理サイト>

<https://www.kyutech.ac.jp/exchange/ampo.html>

We have established the Security Export Control Regulations in Kyushu Institute of Technology based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act of Japan and established an export control system from the perspective of providing technology and personnel exchange, and rigorously screen potential international students on the basis of these regulations.

International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

Access the following website for more details:

<https://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html>

15. 不測の事態発生時における諸連絡について

Emergency Contact in the Event of Unforeseen Circumstances

不測の事態等により、所定の日程に入学試験を実施することが困難であると本学が判断した場合、入学試験及び合格発表の中止や日程の延期等の対応を講じることがある。ただし、これに伴う受験者の個人的損害について、本学は責任を負わない。

なお、不測の事態が発生した場合の対応については、本学ホームページ (<https://www.kyutech.ac.jp/>) 等において告知する。

また、試験当日、公共交通機関に不測の事態が生じた場合は、ただちに情報工学研究院教務学生支援課大学院係 (0948-29-7520) に連絡すること。

If the entrance exam cannot be administered as scheduled due to unforeseen circumstances during a natural disasters, cancellations or changes in date and/or venue will be made.

Note that the university will not be responsible for the applicants' expense fee due to its.

Regarding response measures in the event of unforeseen circumstances, there will be a notification such as on the university website (<http://www.kyutech.ac.jp/>).

Also, in the event of an unforeseen circumstances in respect to public transportation on the day of the examination, contact us at the Graduate School Section, the Graduate School of Computer Science and Systems Engineering immediately.

Phone : +81-(0)948-29-7520

出願資格の審査申請について Application for eligibility review

「一般選抜」及び「社会人特別選抜」の出願資格(7)から(9)まで、「外国人留学生特別選抜」の出願資格(5)から(7)により出願する者は、必ず事前に情報工学研究院教務学生支援課大学院係へ問い合わせのうえ、次の書類を令和6年4月12日(金)(第2次募集は、令和6年12月23日(月))までに提出すること。

審査の結果は、令和6年5月8日(水)(第2次募集は、令和7年1月8日(水))までに本人宛に発送する。

- ① 出願資格判定申請書
- ② 出願資格判定調書
- ③ 研究実績
- ④ 研究歴証明書
- ⑤ 大学又は外国の学校等の卒業証明書及び成績証明書

様式①～④は、いずれも本学ホームページからダウンロードすること。

(<https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html>)

Applicants who apply for the “general selection” and “special selection for working adults” application qualifications (7) to (9) and “special selection for foreign students” application qualifications (5) to (7) After contacting the Graduate School Section, Academic Affairs and Student Support Division, Faculty of Engineering, submit the following documents by Friday, April 12, 2024 (Monday, December 23, 2024 for the second round). to submit.

The results of the examination will be sent to the applicants by May 8, 2024 (Wednesday) (the second recruitment will be on January 8, 2025 (Wednesday)).

- ① Application for eligibility determination
- ② Application eligibility determination record
- ③ Research achievements
- ④ Research history certificate
- ⑤ University or foreign school graduation certificate and transcript

Forms ① to ④ must be downloaded from the university website.

(<https://www.kyutech.ac.jp/examination/csse-doctor.html>)

長期履修制度について About the long-term course system

1. 制度趣旨について About the purpose of the system

情報工学府では、学生が職業を有していること等により、学修時間の制約を受け、標準修業年数（3年）で履修が困難な場合、申請に基づき6年を限度として計画的な履修を認めることができる。

計画的な履修を申請し、履修許可を受けた場合、標準修業年数分の授業料で修了することができる。

In the Graduate School of Information Engineering, if it is difficult for students to complete courses within the standard number of years (three years) due to restrictions on study time due to their occupations, etc., they will be able to take planned courses up to six years based on their application. can be admitted.

If you apply for planned courses and receive permission to take them, you can complete the course with tuition for the standard number of years of study.

2. 長期履修期間について About the long-term course period

長期履修期間は最大6年を限度として、次のとおり年単位で取り扱う。

(1) 入学当初からの申請：標準修業年数3年のところ、4年から6年での申請が可能。

(2) 1年又は2年終了時での申請：長期履修前の期間を含め、6年まで申請可能。

Long-term courses are limited to a maximum of 6 years, and are handled in units of years as follows.

(1) Application from the time of enrollment: Whereas the standard course duration is 3 years, it is possible to apply for 4 to 6 years.

(2) Application at the end of 1st or 2nd year: Applications can be made for up to 6 years, including the period before long-term study.

3. 授業料の取扱いについて Handling of tuition fees

長期履修が許可された場合の授業料については、原則として、次により算出された金額を支払う。

$$\text{定められた授業料の年額} \times \text{標準修業年数} \div \text{長期履修を許可された年数}$$

在学中に授業料の改正が行われた場合には、再計算され、改正時からの新授業料が適用される。

なお、長期履修終了後も引き続き3年間は在籍することができるが、その場合、一般の学生と同額の授業料が徴収される。

As a general rule, the tuition fee for long-term enrollment will be calculated as follows.

$$\text{Fixed annual tuition fee} * \text{Standard number of years of study} / \text{Number of years allowed for long-term study}$$

If the tuition fee is revised while enrolled, it will be recalculated and the new tuition fee from the time of revision will be applied.

Students can continue to enroll for three years after completing the long-term course, but in that case, the same amount of tuition as regular students will be collected.

【授業料の徴収方法の例】 Example of how to collect tuition

(1)長期履修制度を利用しない場合

When not using the long-term course system

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年額	535,800円	535,800円	535,800円	—	1,607,400円

(2)入学年次に長期履修（6年）を申請した場合

When applying for long-term study (6 years) in the year of admission

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	修了までに要する総額
年額	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	267,900円	1,607,400円

(3)入学年次に長期履修（6年）を申請したが、1年終了時に3年に短縮した場合

If you applied for a long-term course (6 years) in the first year, but shortened it to 3 years at the end of the first year

	1年目	2年目	3年目	—	修了までに要する総額
年額	267,900円	535,800円	535,800円	—	1,607,400円
差額	267,900円	←変更許可時に徴収			

※ 金額は、令和6年度を基に計算しているため、在学時に変更される場合がある。

*Since the amount is calculated based on the 2024 academic year, it may change while you are still in school.

4. その他 others

相応の理由があると認められる場合、規定に基づき、長期履修期間の変更（延長・短縮）ができる。
If it is recognized that there is a valid reason, the long-term course period can be changed (extended or shortened) based on the regulations.

九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度

	制度	対象	制度概要
学費免除・猶予	入学料免除	新入生	経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、入学料の全額または一部の納付を免除します。 【申請時期：入学手続時】
	入学料徴収猶予	新入生	経済的理由により納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、入学料の徴収を一定期間猶予します。 【申請時期：入学手続時】
	授業料免除	全学生	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、授業料の全額または一部の納付を免除します。 【申請時期：新入生は入学手続時、在生は半期ごと（前期分3月・後期分7月）】
奨学金	日本学生支援機構奨学金	全学生	人物・学業ともに優秀かつ健康であり、学資の支弁が著しく困難な学生に対し、大学の推薦及び日本学生支援機構の選考を経て奨学金が貸与されます。 在学中に貸与を希望する場合、4月上旬頃に申請手続きを行います。（在学採用） また、学部卒業後すぐに大学院に進学する学生に対しては、進学前に奨学金の申請手続を済ませておく予約採用制度もあります。 なお、第一種奨学金については、大学院在籍中に特に優れた業績を挙げたと認められた場合、奨学金の全額または半額について返還の免除が受けられる場合があります。（第一種奨学金返還免除制度） 第一種（無利子）：博士前期課程 50,000円または88,000円 博士後期課程 80,000円または122,000円 第二種（有利子）：5万円・8万円・10万円・13万円・15万円の中から選択 【申請時期：在学採用は4月上旬、予約採用は入試合格者発表後】
	その他奨学金 各種育英財団・ 地方公共団体・ 企業などの奨学金	（各団体が定める要項による）	本学で令和5年度に取り扱った主な育英事業団体は次のとおりです。一部、給付型の奨学金もあります。 ・旭硝子財団 ・川村育英会 ・中部奨学会 ・日鉄鉱業奨学会 ・ユニ・チャーム共振財団 ・大阪造船所奨学会 ・あしなが育英会 ・ナガワひまわり財団 ・長谷川財団 ・吉田育英会 ・金澤記念育英財団 ・福岡奨学会 ・日揮・実吉奨学会 ・原田記念財団 ・吉本章治奨学会
	日本学生支援機構奨学金	私費 外国人 留学生	入学前に海外から出願し、渡日せずに申請できる「留学生受入れ促進プログラム予約制度」があります。毎年、給付要件を満たすものを対象として、大学の推薦及び日本学生支援機構の選考を経て奨学金が給付されます。 【給付金額】月額48,000円 【給付期間】春入学：12ヶ月 秋入学：6ヶ月 【申請時期】春入学：11月頃 秋入学：7月頃
	外部の団体が募集 する奨学金	留学生 （各団体が定める募集要項による）	本学で令和5年度に取り扱った奨学金は次のとおりです。全て給付型の奨学金です。 ・アシュラン国際財団奨学金 ・大塚敏美育英奨学財団 ・九電記念育英会 ・KDDI財団奨学金 ・実吉奨学金 ・田坂育英基金 ・ドコモ留学生奨学金 ・福岡県国際交流センター奨学金 ・吉川育英会奨学金センター奨学金 ・ロータリー米山奨学金 ・SGH財団奨学金 ・金澤記念育英財団 ・共立国際交流奨学財団奨学金 ・佐藤陽国際奨学財団 ・椎木正和記念アジア奨学金 ・帝人奨学金 ・福岡県国際交流センター里親奨学金 ・平和中島財団奨学金 ・吉本章治奨学金

	制度	対象	制度概要
学会参加旅費等	各教育プログラムによる経済支援	全学生	本学独自の教育プログラムのうち、補助金、国や地方公共団体からの支援、民間企業等外部の団体からの支援、大学独自の支援等により、教材費、国内外への旅費、その他の経済支援を行っているものが多数あります。
	学会発表等に関する奨学金	全学生	<p>国外で開催される国際的な学術研究機関、団体が主催する学会又は研究会等で研究成果の発表等を行う際の費用の一部を支援することにより、国際感覚の涵養及び修学・研究意欲の向上を図る。</p> <p>【奨学金】</p> <ol style="list-style-type: none"> グローバルエンジニア養成コースを履修している場合 一人一回につき 40,000 円～120,000 円。※地域により異なる。 在学中に3回まで支給可能。 その他の学生の場合 一人一回につき 30,000 円～100,000 円。※地域により異なる。 在学中に5回まで支給可能。
雇用制度	日本学術振興会特別研究員	博士後期課程学生	<p>日本学術振興会による、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることによって我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者に研究奨励金を支援する制度です。</p> <p>特別研究員 DC1 (博士課程後期第1年次在学学生) 200,000 円/月 DC2 (博士課程後期第2年次以上在学学生) 200,000 円/月</p>
	リサーチ・アシスタント (RA)	博士後期課程学生	<p>教育的配慮の下に、研究補助者として本学が行う研究プロジェクト等に参画させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度で、月額 60,000 円を上限に最長 9 ヶ月支給します。</p> <p>※但し、国費留学生又はそれに準じる学生は除きます。</p>
	ティーチング・アシスタント (TA)	全学生	<p>教育的配慮の下に教育補助業務に従事させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度です。</p>
住居	スチューデント・レジデンス	全学生	<p>日本人学生と外国人留学生との混住寮で、1棟 20 戸、1戸あたり 3 部屋となっており、各戸にはキッチン、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テーブル、エアコン等を備え、各部屋にはベッド、机、クローゼット、照明器具、エアコン等を備えています。</p> <p>入居期間は原則として1年間です。(申請により延長することも可能です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄宿料 (月額) 15,000 円 (食費・生活費等は含まない) ※留学生は 7,000 円減免されることがあります。 ・ 光熱水料 (月額) 約 5,000 円～10,000 円程度
	国際交流会館	留学生	<p>外国人留学生や外国人研究者の居住施設で、各部屋にはキッチン、冷蔵庫、ベッドやその他の家具・調度品を備え、他に共通施設として研修室、談話ホール、洗濯室等があります。</p> <p>入居期間は原則として6ヶ月以内です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄宿料 (月額) 単身室 5,900 円、夫婦室 9,500 円、家族室 14,200 円 (食費・生活費等は含まない) ・ 光熱水料 (月額) 約 5,000 円～10,000 円程度

★情報工学府における経済的支援についての情報は以下からもご確認いただけます。

【学費免除・猶予】 <https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/tuition>

【日本学生支援機構奨学金】 <https://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/jasso>

【その他の奨学金】 <https://bap.jimu.kyutech.ac.jp/publishes/11301/index>

九州工業大学大学院情報工学府の概要

1. 情報工学府の構成

課 程	専 攻	基礎となる学部の専門学科群
博士前期	情報創成工学専攻 Creative Informatics	知能情報工学科 情報・通信工学科 知的システム工学科 物理情報工学科 生命化学情報工学科
博士後期	情報創成工学専攻 Creative Informatics	博士前期課程 情報創成工学専攻

2. 情報創成工学専攻の概要

情報創成工学専攻が養成する人材は、高度な情報工学とそれぞれの専門分野に関する専門知識・技能、そしてそれらを融合することで産業界の諸問題を解決することができる、情報工学技術者および研究者である。本情報工学府は、ディプロマポリシーの基で、博士前期課程においては、「最新の情報技術を原動力として、産業界の諸問題を解決する力をもつ技術者」を、博士後期課程においては、「DX時代の社会を牽引するグローバルリーダーとなり得る、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる高度専門技術者・研究者」として、リーダーシップを発揮し課題発見・解決に導き、産業界でのニーズに応えられる人材を養成する。

教育研究分野及び授業科目

※以下の内容に追加・修正がある場合、本学ホームページで随時周知するので確認すること。

Any revisions or amendments to the following list shall be displayed on the university website. Please confirm before filling out the application.

○知能情報工学専門分野

教育研究分野	担当教員	担当科目
<p>コンピュータアニメーション技術を応用したシステムを開発する上で重要となる手法や理論を、プログラミング演習を交えながら教育研究する。特に、人体モデルのアニメーションを実現するための手法や理論を、教育研究する。</p> <p>(Computer Animation, Computer Graphics)</p>	<p>尾下 真樹 OSHITA Masaki</p>	<p>コンピュータ アニメーション特論 Advanced Computer Animation</p>
<p>画像処理・パターン認識に関する教育研究を行う。特に読唇、注視点推定、表情認識や手話認識を中心とした福祉応用を目的としたコミュニケーション支援に関する研究を行う。その他、自然物の画像認識などを研究する。</p> <p>(lip reading, gaze estimation, sign language recognition, image processing, pattern recognition)</p>	<p>齊藤 剛史 SAITOH Takeshi</p>	<p>画像認識特論 Advanced Image Recognition</p>
<p>大規模データを有効利用する観点から、計算機科学における様々な手法を組み合わせることで新しいデータの利活用のための手法を創出することを目的とする。特に、データ圧縮、機械学習、セキュリティ分野にまたがる境界領域を研究分野とする。</p> <p>(data compression, machine learning, privacy-preserving computation)</p>	<p>坂本比呂志 SAKAMOTO Hiroshi</p>	<p>情報数学特論 Advanced Course in Information Mathematics 経営戦略特論 Advanced Strategic Management</p>
<p>位相幾何学, 微分幾何学, 代数幾何学, 代数学の理論を使って, データ科学や暗号理論の研究と教育を行っている。データ科学では, 特に, 位相的データ解析の研究を行い, 機械学習や異常検知の技術を取り入れて新しいデータ分析の手法を提案し, 様々な実践的データの分析や数学の分野への応用を研究している。暗号理論では楕円曲線暗号などの代数曲線暗号や耐量子計算機暗号, および, 可換環論を応用した新しい暗号プロトコルなどの研究を行う。また, ロボット工学における経路運動計画などの位相幾何学の工学への応用を教育研究する。</p> <p>(Differential Topology, Algebraic Geometry, Topological Data Analysis, Commutative Algebra, Cryptography, Motion Planning)</p>	<p>佐藤 好久 SATO Yoshihisa</p>	<p>暗号数学特論 Introduction to Mathematical Cryptography 位相的データ 解析特論 Introduction to Topological Data Analysis</p>
<p>自然言語処理を基盤として, 音声理解や画像処理などを統合したマルチモーダル情報解釈に関する教育研究を行う。Web を対象とした情報抽出・要約など応用的な言語処理やロボットや人間同士の対話の理解に関する研究を行う。</p> <p>(Natural Language Processing, Information Extraction, Conversation Understanding, Multimodal Interpretation)</p>	<p>嶋田 和孝 SHIMADA Kazutaka</p>	<p>自然言語処理特論 Advanced Natural Language Processing 知能情報演習 Exercises on Artificial Intelligence</p>

<p>人工知能におけるデータマイニングと機械学習, 特に, 頻出パターンマイニング, 決定木構築, クラスタリングについて, 主としてアルゴリズムを中心とした教育研究を行う。 (artificial intelligence, data mining, machine learning)</p>	<p>平田 耕一 HIRATA Kouichi</p>	<p>人工知能特論 Advanced Course in Artificial Intelligence</p>
<p>支配原理や法則が明らかでない諸現象を数学を用いて解明する。ビッグデータ解析に数学の手法, 特に統計的な手法を用いた解析手法を確立する。その他, 関数空間, 数列空間の理論の精密化など測度や積分の諸性質に焦点をあてた教育研究を行う。 (non-additive measure, non-linear integral, statistical data analysis, banach space)</p>	<p>本田あおい HONDA Aoi</p>	<p>統計的データ解析 特論 Advanced statistical data analysis 知能情報概論 Introduction to Artificial Intelligence</p>
<p>現実問題を解く際に現れる様々な探索問題やスケジューリング問題は, いくつかの変数と数式を含む数学モデルに定式化することができ, 組合せ最適化問題と呼ばれる。組合せ最適化問題に対して, これまで様々なアルゴリズムが開発され, 現実の様々な意思決定の場において広く用いられており, 組合せ最適化における基本的なアルゴリズム設計に関する教育研究を行う。 (Optimization problems, Approximation algorithms, Online algorithms, Randomized algorithms, Parallel algorithms, Computational complexity)</p>	<p>宮野 英次 MIYANO Eiji</p>	<p>最適化 アルゴリズム論 Optimization Algorithms</p>
<p>離散最適化問題に対する高度なアルゴリズム設計・解析技術の教育研究を行う。特に, 分枝限定法や動的計画法などのアルゴリズム設計技法を高性能な解析手法を習得する教育を行い, 理論に基づいた先進的なアルゴリズムの実装手法の教育研究を行う。 (Discrete algorithms, Algorithm analysis, Dynamic programming, Branch and bound)</p>	<p>斎藤 寿樹 SAITOH Toshiki</p>	<p>離散アルゴリズム 特論 Advanced Discrete Algorithms</p>

○情報・通信工学専門分野

教育研究分野	担当教員	担当科目
<p>進化計算, ニューラルネットワーク, ファジィシステムを代表的な手法とした問題解決の枠組みであるソフトコンピューティングと, そのネットワークシステムへの応用に関する教育研究を行う。さらに生物にヒントを得た手法に関する教育研究も行う。 (soft computing, bio-inspired algorithm, evolutionary computation)</p>	<p>大西 圭 OHNISHI Kei</p>	<p>ソフト コンピューティング Soft Computing</p>
<p>安心・安全な情報化社会に欠かせない高信頼な大規模集積回路 (LSI) の実現に貢献するテスト技術について教育研究を行う。数千万もの論理素子から構成され数 GHz もの高い周波数で動作する LSI 回路に機能障害の元となる製造欠陥の有無を調べるテストには, 極めて高度な技術が求められている。世界トップレベルの革新的な LSI テスト技術の創出とグローバル人材の育成を目標に教育研究を進める。 (LSI, Test, Design for Testability, Fault Diagnosis, High-Reliability LSI Design)</p>	<p>温 暁青 WEN Xiaoqing</p>	<p>高信頼 LSI 設計 High Reliability Design</p>
<p>適切な品質の確保のためには, 後付け的に対策を行うのではなく, 初期段階から品質目標を定めてシステムの適切なライフサイクルとその構成プロセスを明確化し, それぞれの段階での活動と作業成果物の品質確保を確実にする必要がある。このような, 製品だけでなく作り方も適切に設計するという問題 (クオリティバイデザイン) に対し, 先進的なモデリングとプロセスの技術を活用して取り組んでいく。 (Software Engineering, Systems Engineering, Resilience Engineering, Modeling)</p>	<p>日下部 茂 KUSAKABE Shigeru</p>	<p>パーソナルソフトウェア プロセス I,II Personal Software Process I,II チームソフトウェア プロセス I,II Team Software Process I,II 企業課題解決型実践演習 Practical exercises of problem solving in enterprises</p>
<p>ハードウェア及びソフトウェアの協調設計に関する教育研究を行う。特に画像伝送システムを主体に, 信号処理システムおよび通信システムの解析や協調設計法について教育・研究する。また, システムにおけるハードウェア及びソフトウェアの最適化に関する教育研究も行う。 (Hardware/Software Co-Design, Image Transmission System, Wireless Transmission System, Digital Signal Processing)</p>	<p>黒崎 正行 KUROSAKI Masayuki</p>	<p>ハードウェア・ソフト ウェア協調設計 Advanced Hardware / Software Co-Design</p>

<p>計算機およびネットワークのセキュリティに関する教育研究を行う。当該分野の課題を概観し、そこで用いられる情報表現や情報分析の数理的手法について、Biometrics (生体認証), Document Security (文書機密保護), Digital Watermarking (電子透かし), Cryptography (暗号化), Computer Security(計算機セキュリティ)の5つの応用を中心とした教育研究を行う。すべてのネットワーク化されたITシステムにおいて不可欠なセキュリティ工学のための、共通的な視点と個別技術への深い理解への導入となる。また、講義はすべて英語で行う。</p> <p>(Pattern Recognition, Image Processing, Soft Computing, Computational Intelligence, Security Technologies, (Multi-Objective) Optimization, Algorithm Theory)</p>	<p>ケッペン マリオ KOEPPEN Mario</p>	<p>Computational Security:Basic Topics</p> <p>Computational Security:Advanced Topics</p>
<p>オペレーティングシステムや仮想計算機などのシステムソフトウェアについての教育研究を行う。オペレーティングシステムとして、計算機だけでなく組み込み機器などの様々な用途に使われるようになっているLinuxを主な対象とする。また、近年脚光を浴びている仮想計算機の技術を用いた、システム全体の信頼性やセキュリティの向上についての教育研究を行う。</p> <p>(Operating System, Virtual Machine, Dependability, Security)</p>	<p>光来 健一 KOURAI Kenichi</p>	<p>クラウド コンピューティング Cloud Computing</p>
<p>情報通信のためのネットワークシステムに関する教育研究を行う。特に通信プロトコル、通信アーキテクチャの視点に立った通信工学分野を主体に、IoT向けの通信システムや通信プロトコルについて教育・研究する。また、実機に対する実装、および性能評価のための理論的解析や解決に関する教育研究も行う。</p> <p>(Computer Network, Mobile Network, Wireless Network, Mobility Management, Cognitive Radio)</p>	<p>塚本 和也 TSUKAMOT O Kazuya</p>	<p>無線モバイル ネットワーク Wireless mobile network</p>
<p>ソフトウェア基礎理論とそのプログラミング言語への応用の教育研究を行なう。</p> <p>計算モデルのλ計算、型理論、高階書換え系、プログラム意味論などを基礎とし、関数型や論理型といった複数のプログラミングスタイルを融合したマルチパラダイム言語の実現を目指す。</p> <p>また自動証明、ソフトウェア検証、メタバース技術といったAI時代に必要な新しい計算基盤へも対応しうるプログラミング言語の研究を行なう。</p> <p>(Programming Languages, functional programming, theory of computation, software verification, metaverse)</p>	<p>浜名 誠 HAMANA Makoto</p>	<p>プログラミング言語の 基礎理論 Foundations of Programming Languages</p>
<p>並列分散処理のための計算モデル、および、アルゴリズムに関する教育と研究を行う。特に、クラスタ処理を用いた並列処理におけるアルゴリズムや、ブロックチェーン等の分散台帳システムにおいて用いられるコンセンサスアルゴリズムなどに焦点をあてる。</p> <p>(Parallel and Distributed Algorithms, Cluster Computing, Consensus Algorithm)</p>	<p>藤原 暁宏 FUJIWARA Akihiro</p>	<p>並列分散アルゴリズム Parallel and distributed algorithms</p>

<p>金融分野における業務や取り組み事例について概説するとともに、フィンテック業務に携わる情報系技術者との対話を通して、金融分野における情報技術の役割に対する理解を深める。また、海外の金融事業や金融業務におけるデジタルトランスフォーメーションの取り組みについて紹介する。 (Financial technology, financial operation)</p>		<p>フィナンシャル テクノロジー financial technology</p>
<p>株取引における基礎知識やテクニカル指標について概説するとともに、Python によるプログラムを用いて株の自動取引を行うための基本的な手法について説明する。また、バックテストを用いた取引アルゴリズムの評価について説明するとともに、自動取引に必要な web スクレイピング技術についても触れる。 (Trading algorithms, backtesting)</p>		<p>トレーディングアルゴリズム Trading algorithms</p>
<p>プログラミング言語の設計と実装ならびに並列処理を中心とした計算基盤に関する教育研究を行う。特に、使い易さ、信頼性、実行性能、容量、エネルギー効率等を重視し、多様化、複雑化、並列化が進む計算基盤を効率よく簡単・安全に利用可能とするため教育研究を行う。 (programming languages, parallel processing)</p>	<p>八杉 昌宏 YASUGI Masahiro</p>	<p>プログラミング言語と 処理系特論 Programming Languages and Systems</p>
<p>3D イメージングシステムに関する教育研究を行う。特に、機械学習による 2D 画像を用いた 3D 情報の推定や視界不良環境下でも機能する 3D 映像撮影および可視化システムの教育研究を行う。また、血液を観察・分析することで病気を診断可能なデジタルホログラフィック顕微鏡に関する教育研究を行う。 (Imaging Systems, Three Dimensional Visualization, Digital Holography, Medical and Biological Imaging)</p>	<p>李 旻哲 LEE Min-Chul</p>	<p>光信号処理 Optical Signal Processing</p>
<p>情報通信システムの設計に関する通信トラヒック理論を基礎として、マルチメディアネットワークにむけてのサービス品質 (QoS) 保証、ネットワーク性能計測、トラヒックエンジニアリング (TE) の評価、実験、実装に関する教育研究を行う。 (Computer Network, Sensor Network, Green ICT)</p>	<p>川原 憲治 KAWAHARA Kenji</p>	<p>ネットワークデザイン Network Design</p>
<p>高速化・低電力化・高機能化といった LSI の高性能化の基本課題に対して、新規な回路・アーキテクチャを提案し、実際に LSI を試作・評価することで、その効果を検証し、同時に、高性能な大規模 LSI 回路を効率的に設計するための設計手法についても、特に性能の差別化に大きく貢献するトランジスタレベルから検討を行い、ビッグデータ処理や人工知能等への応用を目指した次世代の超大規模 LSI のあるべき姿について探求する教育研究を行う。 (Digital Circuits, Analog Circuits, A/Dmix Circuits, Logic LSI, Memory LSI, High-speed Interface, VLSI, EDA)</p>	<p>中村 和之 NAKAMUR A Kazuyuki</p>	<p>システム LSI 設計論 System-LSI Design 半導体トピックセミナー Seminar on semiconductor topics</p>

<p>従来の集積回路作製のための微細加工技術に加え， 3次元微細加工技術に関する教育研究を行う。これらの技術と関わりの深い，三次元集積回路素子，真空マイクロエレクトロニクス，マイクロマシニングなど，集積回路とマイクロ構造体の融合に関する教育研究も行う。</p> <p>(Microfabrication, Micro Electrical Mechanical System, Inkjet, Sensor Element, Solar Cell, Power Device)</p>	<p>馬場 昭好 BABA Akiyoshi</p>	<p>マイクロシステム特論 Advanced Course on Microelectronic Systems</p> <p>集積回路作成実習 Integrated Circuit Manufacturing</p>
--	------------------------------------	---

○知的システム工学専門分野

教育研究分野	担当教員	担当科目
<p>線形・非線形システムのロバスト性の解析と設計に関する教育研究を行う。動きの仕組みの追究と動くもの創りを体系的に解決するシステム制御理論や、その応用によるバランスのとれた順応能力を持つ制御系の設計法などである。 (Nonlinear dynamical systems, Control theory, Robustness, Stability, Digital control, Biological systems, Cyber-physical network)</p>	<p>伊藤 博 ITO Hiroshi</p>	<p>ロバスト安定論特論 Robustness and stability of dynamical systems</p>
<p>流体構造連成現象に代表されるマルチフィジクス連成の諸問題を解くために有限要素法を中心とする計算力学的アプローチに関する教育研究を行う。特に、高精度な数値シミュレーションにより、生物運動のような複雑で大規模なシステムをマルチフィジクス連成の観点から理解し、新しい人工システムに応用することについて教育・研究する。 (Computational Mechanics, Finite Element Method, Multi-Physics Coupling, Fluid-Structure Interaction, Fluid-Structure-Electric Interaction)</p>	<p>石原 大輔 ISHIHARA Daisuke</p>	<p>CAE 特論 Computer Aided Engineering 計算力学特論 Computational Mechanics</p>
<p>動画像処理技術に関して教育・研究を行う。一般的な画像処理技術に加え、動画像処理ならではの物体追跡用フィルタリング技術、オプティカルフロー推定技術、運動視による形状復元 (Shape-from-Motion) 等の理論的分野を主体に教育・研究を行う。 (Pattern Recognition, Image Processing, Image Analysis)</p>	<p>榎田 修一 ENOKIDA Shuichi</p>	<p>動画像処理基礎 Fundamentals of Digital Video Processing 動画像処理特論 Digital Video Processing ロボット工学総合演習I Robotics : Exercises I</p>
<p>ナノ 3 次元構造形成技術の確立からマイクロデバイス化技術へ展開を図り、ナノ・マイクロエンジニアリング分野での教育・研究を進める。ここではナノ微粒子に機能性を付加することや、電磁場による材料除去や付着させる手法を確立する。さらにマイクロデバイスの応用として、クリーンエネルギー技術への適用を目指す。 (MEMS, Energy, Micro Devices)</p>	<p>鈴木 恵友 SUZUKI Keisuke</p>	<p>ナノマイクロエンジニアリング特論 Advanced Course for Nano Micro Engineering 国際エンジニアリング共同講義I、II International Joint Lecture of Information Engineering I, II</p>

<p>近年、高精度、高品質な製品の効率的な生産が求められ、設計工程から製造工程までの生産工程を支援する CAD ソフトウェアが必要不可欠となっている。通常、CAD はブラックボックス的に使用されることが多いが、本科目では理解を深め、応用力を高めるため、使用方法だけでなく内部の仕組みや実現方法について講義する。また、製造工程で必要となる大量データの処理、実時間性の必要な処理などをサポートする情報システムについて教育研究を行う。</p> <p>(Computer Aided Control System Design, Numerical Computation, Simulation, Java Technology)</p>	<p>古賀 雅伸 KOGA Masanobu</p>	<p>制御系 CAD 特論 Computer Aided Design of Control Systems</p>
<p>制御システムの設計理論に関する教育研究を行う。特に、信頼性などを考慮したシステムの設計や、自律分散システムに対する考察、定式化を行う。また、制御システムと人間の協調についても研究する。</p> <p>(Control Theory)</p>	<p>瀬部 昇 SEBE Noboru</p>	<p>応用線形代数 Advanced Linear Algebra</p> <p>現代制御論特論 Advanced modern control theory</p> <p>ロバスト制御特論 Introduction to Robust Control Theory</p> <p>システム制御演習 Exercises in Control System Design</p>
<p>制御理論的な研究をベースに、デジタル信号処理技術や計算科学的な技術を融合して Computational Systems Biology 研究を推進する。また、分子デバイスを使って実装可能な制御系の検討、分子ロボティクスのための制御理論の構築を行う。</p> <p>(Control theory, Systems biology, Molecular robotics, Biochemical networks)</p>	<p>中茎 隆 NAKAKUKI Takashi</p>	<p>非線形システム特論 Nonlinear Systems</p>
<p>教育は、マイクロ流体工学の基礎と応用について行う。具体的には、さまざまなマイクロ流動現象、加工、計測技術など MEMS 関連。</p> <p>研究は、生体の複雑現象の数値解析を行う。(腫瘍増殖、皮膚・毛髪生成、指先血管画像処理、歯槽骨再生、肝臓再生)</p> <p>(Micro Fluidics, Particle Simulation, System Biology)</p>	<p>永山 勝也 NAGAYAMA Katsuya</p>	<p>マイクロ流体工学特論 Micro Fluidics</p>

<p>情報システムとメカトロニクスの融合は、機械の知能化を実現するために重要な役割を果たしている。人間・生物の知覚と機械の自律性の観点から融合技術を据え直し、メカトロニクスシステムの総合的な設計・方法論の教育と研究を行う。</p> <p>(Robotics, Cognitive robot, Affective robot, Mobile robot, Autonomous motion & behavior, Human-Robot Interaction, Natural motion understanding)</p>	<p>林 英治 HAYASHI Eiji</p>	<p>ロボティクス設計特論 Advanced Lecture on Robotics and Design Systems</p> <p>インテグレーション 実践演習I, II, III Exercises on Advanced Robotics Integration I, II, III</p> <p>チームマネジメント 実践演習 Exercises on Team Management</p>
<p>流体力学における複雑な流動現象とその解明のための光学的流体計測および数値シミュレーションに関連する教育研究を行う。特に、弾性運動体まわりや昆虫の翅まわりなどの流体構造連成現象を対象とした渦構造および動的挙動、空力制御デバイスおよび飛翔体の安定性に起因する流れ場、さらには、流れ場の制御材料として期待される導電性高分子ソフトアクチュエータに関連する教育研究を行う。</p> <p>(Fluid measurements, Computational Fluid Dynamics, Fluid Structure Interaction Problem, Conducting Polymer actuator)</p>	<p>渕脇 正樹 FUCHIWAKI Masaki</p>	<p>流体力学特論 Fluid Dynamics</p> <p>国際エンジニアリング 共同講義V International Joint Lecture of Information engineering V</p>
<p>ロボティクス、フィジオロジカル・コンピューティング、サイバネティック・トレーニングに関する教育研究を行う。特に、ロボット制御への機械学習の応用に関する教育研究を行う。</p> <p>(Robotics, Physiological computing , Cybernetic training, Machine learning)</p>	<p>小林 順 KOBAYASHI Jun</p>	<p>システムデザイン特論 System Design</p>

○物理情報工学専門分野

教育研究分野	担当教員	担当科目
<p>超伝導体における臨界電流密度の決定要因，および量子化磁束とピンニングによる電磁現象の測定解析，また超伝導材料を利用した応用分野，たとえば超伝導マグネットや超伝導トランス，超伝導電力ケーブルの開発，さらに超伝導マグネットの磁場を利用した磁気科学の教育・研究を行う。</p> <p>(Superconducting Engineering, Superconducting Material Properties, Strong Magnetic Field Effect, Power Cable, Network, Concurrent Processing)</p>	<p>小田部 莊司 OTABE Edmund Soji</p>	<p>超伝導応用特論 Advanced Applied Superconductivity</p>
<p>半導体を代表とする電子材料工学に関する教育研究を行う。特に，電子材料のバンド構造，フォノンバンドを第一原理計算で求める手法を習得し，新材料開発に活用するための教育・研究を行う。また，今後の電子情報工学に必要とされる研究・開発要素についてディベート形式で議論する。</p> <p>(Electronic Materials Engineering, First principles calculation, Electronic structure, phonon band, Electronics and Information Engineering)</p>	<p>寺井 慶和 TERAI Yoshikazu</p>	<p>電子物性計算科学特論 Advanced solid state physics by computational science</p>
<p>磁性体の工学応用に関する教育研究を行う。特に，情報処理の性能をハード面から向上させるために，磁気メモリやスピントロニクス技術を用いた機能性素子について教育・研究する。</p> <p>(Hard Disk Drive, Spintronics, Magnetoresistance, Spin Current, Magnetic Cellular Automaton, Magnetic Random Access Memory)</p>	<p>福間 康裕 FUKUMA Yasuhiro</p>	<p>磁気記録工学特論 Advanced magnetic recording technology</p> <p>マイクロ・ ナノシステム技術特論 Advanced Nano/Micro system engineering</p>
<p>液晶における電磁気及び光学的効果に関する教育研究を行う。電気流体力学的不安定性の発生メカニズムに関する基礎研究とその工学的応用を研究する。</p> <p>(Liquid Crystals, Thermotropic, Lyotropic, Electrohydrodynamics)</p>	<p>許 宗焄 HUH Jong-Hoon</p>	<p>情報物性特論 Advanced Information Physics</p>
<p>外国人留学生を対象にして，科学技術日本語の表現方法を教育する。</p> <p>(Foreign Students, Technical Japanese)</p>		<p>科学技術日本語 Technical Japanese</p>
<p>医用の分野で利用されている化学技術やバイオマテリアルについて，広く網羅した講義を行う。医学の分野で応用されている様々な素材について学習するため，基本的な化学の知識を再確認し，マテリアルの材料となっている有機化合物やタンパク質についての理解を深める。また，医用の現場に必要なドラッグデリバリーシステムについても概要と現状を説明する。</p> <p>(biomaterial, drug delivery system, elastin)</p>	<p>前田 衣織 MAEDA Iori</p>	<p>医用化学工学特論 Chemical & Biomedical Engineering</p>
<p>生命現象の定量解析に関する教育研究を行う。特に，顕微鏡計測および画像解析技術を用いることにより，生体シグナル伝達，生体エネルギー，分子モーターを対象とした実験および理論研究を行う。また，実験遂行のための計測技術および画像解析手法の開発に関する教育研究も行う。</p> <p>(Quantitative biology, Fluorescence microscopy, Biophysics, Signal transduction, Molecular motor)</p>	<p>森本 雄祐 MORIMOTO Yusuke</p>	<p>定量生物学特論 Quantitative Biology</p>

<p>画像処理技術, 生体高分子の構造・機能連関, 三次元画像表示, 電子顕微鏡技術に関する教育と研究を行う。特に, 電子顕微鏡 2次元画像から 3次元画像を構築するためのアルゴリズムおよびそのプログラム開発環境の構築を行う。また, 構造情報統合化のためのアルゴリズムの開発と 3次元構造データベースの構築を通して, 生命のもつ構造と機能の連関を明らかにするためのシステム構築を行う。さらに, 構築されたシステムを用いて, 現実のタンパク質の構造解析を行い, その機能との連関を研究する。</p> <p>(Structural Biology, electron microscopy, Biophysics, Molecular Motor, bioenergetics)</p>	<p>安永 卓生 YASUNAGA Takuo</p>	<p>デジタル画像処理特論 Advanced Course of Digital Image Processing</p> <p>構造生物学特論 Advanced lecture in biological relationship between function and structure</p>
<p>溶液理論を基に蛋白質を題材とした生物化学物理の問題を研究する理論/シミュレーション手法を開発する。立体構造予測問題, モーター蛋白質での分子間相互作用等について, 溶媒の効果を取り入れて研究する。統計力学, 計算幾何学 (情報理論), Virtual Reality を道具としている。</p> <p>(protein, water, hydrophobic hydration, solubility, heat capacity, SPT, RISM, 3D-RISM, computational geometry, alpha-shape, excluded volume, accessible surface area, virial coefficient, macromolecular crowding, depletion effect, actin, association, motor)</p>	<p>入佐 正幸 IRISA Masayuki</p>	<p>生体機能情報特論 Computational Biomolecular Physics</p>
<p>数値流体力学, 電磁流体力学, プラズマ物理の分野において, 精度・安定性に優れた数値解析スキームの開発や連成解析手法の開発, およびミクロスケールの物理を考慮したモデルを適用することにより新たな現象の発見を目指す研究を行う。特に, 直流あるいは交流磁場下において, 変形する自由表面を含む導電性流体流れの 3次元数値解析を有限要素法に基づいて行うための教育および研究の指導を行う。</p> <p>(Computational Fluid Dynamics, Magnetohydrodynamics, Applied Mathematics, Plasma Physics)</p>	<p>河野 晴彦 KOHNO Haruhiko</p>	<p>電磁気学特論 Electromagnetics</p>
<p>光情報工学に関する教育研究を行う。特に, ホログラフィなどの光学技術を利用した情報応用 (記録, 通信, 演算, イメージングなど), AI などの情報技術を利用した光学応用に関する教育研究を行う。</p> <p>(Optics, Optical information technology, AI-Optics, Holography, Optical memory, Optical communication, Optical computing, Optical imaging, Quantitative phase imaging)</p>	<p>高林 正典 TAKABAYA SHI Masanori</p>	<p>光情報工学特論 Advanced Optics and Information Technology</p>
<p>有機エレクトロニクスに関する教育研究を行う。特に有機半導体分子の分子配向・結晶成長の制御を行う実験を主体に, 発光素子・トランジスタ・センサーなどの有機半導体を用いた情報通信素子の高性能化について教育・研究する。</p> <p>(Applied physics, Electronic devices, Organic semiconductors, Organic chemistry, Organic light-emitting diodes, Organic transistors, Organic photovoltaics)</p>	<p>永松 秀一 NAGAMATS U Shuichi</p>	<p>有機エレクトロニクス 特論 Advanced Organic Electronics</p>

○生命化学情報工学専門分野

教育研究分野	担当教員	担当科目
<p>細胞は外部からの情報をうけとって、形態変化や他の細胞への分化などの高次的機能をはたす。これを分子および遺伝子レベルであきらかにする。具体的には、神経細胞がネットワークを形成するしくみ、アレルギー現象さらにES細胞の分化のしくみなどをあつかう。遺伝子操作、細胞培養および生細胞画像解析の技術を導入した教育研究をおこなう。</p> <p>(neuronal technology, stem cells, in silico drug design, protein structure, nerve regeneration)</p>		<p>細胞情報伝達演習 cell signal transduction</p>
<p>化学物質の生理活性や薬効・毒性等は、各原子の空間的配置と結合・電荷情報として化合物データベースとして蓄積されており、それはビッグデータとしての性質を有する。有機化合物の構成原子種、原子間結合、電荷や各原子の3次元座標からなる行列のデータ構造をコンピュータで取り扱うことにより、類似化合物検索や薬効・毒性予測等の創薬分野の諸問題解決に活用することができる。情報による化学援用(ケモインフォマティクス)として、有機化合物情報処理のためのプログラミング技法、類似性検索、結合シミュレーションに関する教育を行う。</p> <p>(chemical structure, molecular descriptor, in silico drug design, SMILES, docking simulation, molecular dynamics)</p>	<p>青木 俊介 AOKI Shunsuke</p>	<p>創薬ケモインフォマティクス特論 Medicinal Cheminformatics</p>
<p>生体分子ネットワークから数学モデルを構築する方法、微分方程式や代数方程式を用いた数値シミュレーション技術を講義する。生物システムがロバストネスを生み出すメカニズムを理解し、代謝システムや遺伝子発現システムの設計するために必要な知識と技術を講義する。</p> <p>(biochemical reaction, kinetics, metabolic network analysis, robustness analysis, metabolic engineering, biotechnology)</p>	<p>倉田 博之 KURATA Hiroyuki</p>	<p>システムバイオロジー特論 Systems Biology</p>
<p>生体分子ネットワークを合成・解析するために必要な数学的・情報学的技術を講義する。生物回路の構造と機能の関係を示す設計原理を解析するための情報技術を学び、生物システムが基本的ネットワークの組合せからできていることを理解する。Virtual physiological human モデルの開発法について解説する。</p> <p>(virtual physiological human, gene regulatory network, signal transduction pathway, design principle, robustness, feedback control, synthetic biology)</p>	<p>倉田 博之 KURATA Hiroyuki</p>	<p>生命情報工学特論 Bioinformatics and Biochemical Systems Engineering</p>
<p>ペプチドや蛋白質など生体高分子の構造と機能に関する生化学的な教育研究を行う。特に、分光学的解析を主体に、酵素の触媒機構解明について教育・研究する。また、有機合成的手法も取り入れ、新規機能を有する人工酵素の開発および応用に関する教育研究を行う。</p> <p>(peptide, protein, enzyme, heme, structure-activity relationship, catalytic mechanism)</p>	<p>坂本 寛 SAKAMOTO Hiroshi</p>	<p>生命化学特論 Biochemistry</p>

<p>生物を対象としたイメージング技術（バイオイメージング技術）は、生命現象の解明を目的とした基礎研究だけでなく、医学、薬学、農学などの様々な分野で活用されている。バイオイメージング技術は、それらを構成するハードウェア、ソフトウェア、化学・生物学的な技術の進展に伴い、大きな発展を遂げている。本講義ではバイオイメージング技術の中でもとりわけ発展の著しい蛍光イメージング技術について解説を行う。特に生体成分を蛍光ラベル化する技術や蛍光顕微鏡を使った観察技術を中心に最新の事例を交えて解説を行う。</p> <p>(bioimaging, biomolecular imaging, fluorescence imaging, fluorescent labeling, protein labeling, fluorescence microscopy)</p>	<p>末田 慎二 SUEDA Shinji</p>	<p>バイオイメージング 特論 Biomolecular imaging</p>
<p>ネットワーク（グラフ）は、生物学、社会学、生態学、情報インフラストラクチャー、WWW、インターネットなど、多くの分野の複雑なシステムを記述することができる強力なモデルである。ビッグデータ時代の到来からネットワークデータは日々蓄積されており、このようなデータから知識抽出することが求められている。このような大規模で複雑なネットワークを解析・知識抽出するための理論、モデル、計算手法についての教育・研究を行う。</p> <p>(Network analysis, Network science, Complex networks, Graph algorithm, Statistical mechanics, Bioinformatics)</p>	<p>竹本 和広 TAKEMOTO Kazuhiro</p>	<p>ネットワーク解析特論 Network analysis</p>
<p>医用画像のような医療データを情報解析することで医療診断支援を行うためのAI（深層ニューラルネットワーク）開発や応用研究また、医療分野におけるAIの活用におけるセキュリティの問題についての教育・研究を行う。</p> <p>(Deep neural networks, Medical imaging, Machine learning security)</p>		<p>AI 医療・創薬概論 Artificial intelligence in medical imaging and drug discovery</p>
<p>多数の生物種あるいは生物個体のゲノム情報や生育環境情報を利用して、生物種の生理学的性質を予測する生物のゲノム解析を情報解析で推進する。その結果も基に、マイクロ情報である遺伝子の役割を遺伝子組換え体等を明らかにする分子生物学的解析も推進する。このように、ゲノム情報から分子メカニズムの発見を情報学と分子生物学を駆使して実施する研究教育を推進する。</p> <p>(Genome, Omics, Comparative genomics, Population Genetics, Experimental design)</p>	<p>花田 耕介 HANADA Kousuke</p>	<p>ゲノム生物学特論 Genome Biology</p>
<p>ゲノム配列は、あらゆる生物を横断的に「測る」ことができる唯一の物差しである。この配列に潜む情報を読み解き、互いに比較することで、生物の多様性と普遍性を明らかにすることができる。ここでは、この試みに関する最先端の研究事例を論文の輪講を通して学ぶとともに、それらを理解するために必要な学問的知識を提供する。具体的な研究事例として、ゲノム配列からの遺伝子発見、転写制御コードの解読、ゲノム配列の設計、遺伝子の誕生などを扱う。</p> <p>(bioinformatics, genome biology, molecular evolution, statistical model, probabilistic model, computer algorithm)</p>	<p>矢田 哲士 YADA Tetsushi</p>	<p>バイオインフォマティクス演習 Bioinformatics</p>

<p>ゲノム配列は、あらゆる生物を横断的に「測る」ことができる唯一の物差しである。この配列に潜む情報を読み解き、互いに比較することで、生物の多様性と普遍性を明らかにすることができる。ここでは、この試みを実現するコンピュータアルゴリズムや確率モデル、統計的手法を紹介する。具体的には、配列アラインメント、相同性検索、隠れマルコフモデル、多重検定などを扱う。</p> <p>(bioinformatics, genome biology, molecular evolution, statistical model, probabilistic model, computer algorithm)</p>		<p>コンピューテーショナルゲノミクス特論 Computational Genomics</p>
<p>我々は外部及び体内環境からの情報を受け取り、処理して生きている。過度の情報量や不適切なタイミングでの情報処理は、環境の乱れを生じる。そこで情報としての化学物質（医薬品や農薬など）の生体内や環境における移動現象を、量的ならびに時間的に制御する技術について教育研究を行う。特に、医療分野への応用を目的とした薬物治療システムに関する教育研究を行う。</p> <p>(therapeutic system, pharmacokinetics, pharmacodynamics, controlled release, targeting, penetration enhancement)</p>	<p>引間 知広 HIKIMA Tomohiro</p>	<p>医用情報工学特論 Biomedical Engineering</p>